

中国の公共図書館における
ソーシャルメディアの利用実態

筑波大学
図書館情報メディア研究科
2019年03月
XU WENLAN

目次

1. はじめに.....	1
1.1 研究背景.....	1
1.2 研究目的.....	1
2. 先行研究.....	2
2.1 日本.....	2
2.2 中国.....	2
2.3 欧米.....	3
2.4 Weibo の利用実態.....	4
2.5 中国の公共図書館について.....	4
3. 研究方法.....	5
3.1 調査対象のソーシャルメディアについて.....	6
3.1.1 Weibo.....	6
3.1.2 Wechat.....	6
3.1.3 Weibo と Wechat の比較.....	7
3.1.4 図書館専用アプリ.....	7
3.2 調査対象.....	8
3.2.1 中国公共図書館におけるソーシャルメディアの利用現状.....	8
3.2.2 調査対象館.....	12
3.3 インタビュー調査.....	12
3.3.1 インタビュー方法.....	13
3.3.2 インタビュー調査結果.....	15
3.3.3 インタビュー結果まとめ.....	22
3.4 アンケート調査.....	23
3.4.1 調査方法.....	23
3.4.2 質問紙.....	23
4. 調査結果.....	23
4.1 「利用経緯」.....	25
4.2 「管理について」.....	29
4.3 「運用について」.....	34
5. 考察.....	38
6. 結論.....	39
謝辞.....	41
引用文献.....	41
参考文献.....	42
付録.....	43

図表目次

図 1 中国の行政区分.....	5
表 1 ソーシャルメディアの利用状況.....	9
表 2 省レベル以上図書館ソーシャルメディアの利用状況.....	10
表 3 省レベル以上図書館ソーシャルメディアの利用比率.....	11
図 2 全国 Wibo アカウントの分布状況.....	11
図 3 全国 Wechat アカウントの分布状況.....	12
表 4 インタビュー対象館.....	13
図 4 インタビューの質問項目.....	14
表 5 メールアドレスを掲載している公共図書館内訳.....	24
表 6 ソーシャルメディアの種類.....	25
表 7 アカウントの開設目的.....	25
表 8 アカウント開設のきっかけ.....	26
表 9 カウント開設の提案者.....	26
表 10 アカウント提案から設立までの時間.....	27
図 5 アカウント提案から設立までの時間.....	27
表 11 現在の宣伝媒体.....	28
表 12 異なる対象の宣伝方法.....	28
表 13 担当者数.....	29
図 6 担当者数.....	29
表 14 担当係.....	30
表 15 仕事分担.....	30
表 16 アカウントの管理方法.....	31
表 17 内容のチェック.....	31
表 18 他ユーザーとのやりとり.....	31
表 19 更新時間.....	32
表 20 投稿時間帯.....	32
図 7 更新時間.....	33
表 21 自動投稿.....	33
表 22 工夫した点.....	34
表 23 開設後の効果.....	34

図 8	開設後の効果.....	35
表 24	ソーシャルメディアの宣伝.....	35
図 9	ソーシャルメディアの宣伝.....	36
表 25	平均より拡散した内容.....	36
表 26	アカウント増やす予定.....	37
表 27	ソーシャルメディア種類を増やす予定.....	37
表 28	Weibo と Wechat の投稿内容	38
図 10	Weibo を利用している公共図書館の設置自治体	39
図 11	Wechat を利用している公共図書館の設置自治体	39

1.はじめに

1.1 研究背景

科学技術のめざましい発展とともに、人々が最新のニュースを消費するメディアも大きく変わりつつある。伝統的な紙媒体の新聞や受容性の高い大衆媒体であるテレビから、ネット上のポータルサイトやソーシャルメディアが世界中で利用されている。中国国内では、「金盾プロジェクト」という大陸地区において実施されているインターネット情報検閲、ブロック（インターネット）システム制限が存在しており、TwitterやLineなど中国国外で開発された国際的なインターネットサービスは金盾プロジェクトによって遮断されている。中国国内では、TwitterやLINEと同様の国産のアプリが存在する。Weibo（「微博」）はTwitterの代りのマイクロブログであり、Wechatは中国においてLINEのような存在となっている。

2018年6月中国インターネットセンターの最新発展報告¹⁾によれば、中国のインターネット利用者は8.02億人、携帯電話によるインターネット利用者は7.88億人であり、インターネット総利用者の98%を占めている。ソーシャルメディアに関しては、Wechatの利用率が87.3%で一位であり、QQが64.4%で二位、Weibo40.9%で三位となっている。

また、2018年6月に政府が「インターネットと政府機関サービスの連携方案」²⁾を発表した。政府機関のサービスの利用度や利便性を向上させるため、オンサイトのサービスをインターネット上に移行することを呼び掛けている。WechatやWeiboと専用アプリの三つの方法で、政府情報と政府業務のオンライン化を実現しようとしている。一方で、公共図書館は一般公衆の利用に供する機関として、2018年1月1日から施行された「中華人民共和国公共図書館法」³⁾によって、図書館サービスのネットワーク化が推進されている。

WechatとWeiboは主要な情報拡散のためのプラットフォーム、および、コミュニケーションプラットフォームであり、従来のメディアと比較して、WechatとWeiboなどのソーシャルメディアは、文字・画像・ビデオなど様々な形式の情報を提供することが可能であるという点で優位なメディアであると言えるだろう。ソーシャルメディア独特の開放性と平等性、双方向性、リアルタイム性、自由度などの特徴によって、WechatとWeiboは、公共図書館においても情報発信のツールとして用いられるようになっていく。

1.2 研究目的

本研究では、中国の公共図書館におけるソーシャルメディアの運用状況や、ソーシャルメディアの投稿状況と図書館利用者の反応などの状況を明らかにする。また、図書館ソーシャルメディアを開始する経緯や管理規則等の内部の状況を調査することで、新たなメディアを図書館がどのように受け入れようとしているのかといった状況を明らかにすることを目的とする。

2. 先行研究

本章では、図書館におけるソーシャルメディアの利用に関して、利用の経緯、アカウント投稿内容、業務内の位置づけなどに関する先行研究を概観する。

2.1 日本

東日本大震災が発生してから、ソーシャルメディアは緊急時にも利用できる通信手段として注目され、国や地方公共団体において利用率が高まった。総務省が発表した「平成30年情報通信白書」⁴⁾では、LINEの利用率が最も高く、少しでも利用している人を含めて利用者の割合はおよそ全体の60%であった。Facebookの使用率は41.4%、Twitterが40.3%となっていた。近年、ソーシャルメディアを活用した情報発信を行う公共機関が増えている。その中で、図書館においてもいくつもの利用事例が確認できる。国立国会図書館が2012年に「日本の図書館におけるレファレンスサービスの課題と展望」をテーマとして、公共図書館、大学図書館、専門図書館、国立国会図書館を対象に紙調査を行った⁵⁾。その結果、Twitter、Facebook、ブログ、mixiなどのソーシャルメディアを利用していることが明らかになっている。

石過らは、日本の大学図書館におけるソーシャルメディアの利用実態調査を行い、利用目的や運用状態による利用パターンを分析した。TwitterアカウントとFacebookページを開設した大学図書館を対象として、ツイート内容、時間、利用状況などの分析を行った。調査の結果、「図書館全体の広報」と「新着情報や資料の紹介」を利用目的として、図書館側から一方的に情報を発信するためのツールとなっており、相互作用的な利用はなされていないことが明らかになった⁶⁾。

また、吉田は、日本の公共図書館において、TwitterとFacebookのアカウントを収集し、公式に運用しているものであるか否かを判断した上、利用実態について定量的な分析を行っていた。公共図書館においてFacebookよりもTwitterの方が普及しており、内容の分類結果、図書館のイベント情報や開館情報、所蔵本の情報が多数となる傾向があることなどが明らかになった⁷⁾。

2.2 中国

Twitterに代表されるマイクロブログが世界的に普及している一方、中国では国産のWeiboが広く利用されている。公共機関がソーシャルメディアを利用し始めた当時、ソーシャルメディア・アカウントは伝統的な情報メディアの代わりに、利用者に対して、情報発信するだけであった。オンラインによる支払いなど技術の発展にともなって、オンラインで行われてきた政府業務はオンライン化しつつある。現在、公共機関によるソーシャルメディアは情報発信とオンライン化業務を中心として広く利用されるようになっている。

李は中国国内Weiboを使っている図書館アカウントを対象とし、アカウントの種類、投稿内容を調査した結果⁸⁾、図書館に関する内容全般的に発信している総合型アカウントは45%、図書館の新しいニュースを発信しているニュース型アカウントは

27%、利用者との交流を中心にした交流型アカウントは10%、新着資料の推薦アカウントは4%、リファレンス機能を提供するアカウントは3%であると報告している。

また、Weiboの中で、公式のアカウントのみを対象とした調査としては、公共図書館、大学図書館と国立科学機関図書館三つ館種を対象としたものがある。地域分布から、図書館においてWeiboが最も使われているのは中国の東部沿岸地域であり、この地域は全国的に急速な経済発展を遂げている地域であると言える。地域が異なれば、図書館アカウントの影響力（平均フォロワー数、平均ツイート数、平均フォロワー数）にも大きな差が見られる。図書館の新規アカウントの増加のピークは2011年であり、それ以降は安定的に増加している。投稿の時間帯は、一日のうち朝8時から11時までの午前中に投稿されており、最も多いのは9時～10時、次に10時～11時であり、休館時間の0時～6時を除けば、12時～13時と18時～19時二つ時間帯の投稿数が比較的少ない⁹⁾。

さらに、大学図書館と公共図書館Weiboの違いも明らかにした。大学図書館アカウントの方が公共図書館アカウントよりも増加のスピードが早い。アカウントの月の平均投稿数からみると、大学図書館のWeiboアカウントの投稿には周期性が見られる。毎年1月、2月、7月、8月の4ヶ月は平均投稿数の少ない月である。この2つ時期は大学の休暇期間であることが原因であると考えられる。公共図書館は大学図書館と異なり、学生が休暇期間に入る時期に利用が増加し、公共図書館の投稿数はその間に増えていくことが分かった。投稿の時間としては、大学図書館の投稿が最も多い時間帯は朝であり、公共図書館の投稿が最も多い時間帯は夕方であった。

大手ポータルサイト(Sina)によるWeiboを対象とした図書館の利用調査の結果¹⁰⁾、図書館を対象としたWeiboの研究については、「Weibo応用現状の調査と発展」、「Weiboサービス研究」、「Weiboユーザーの特徴」「特定図書館研究」、「地域を中心に図書館Weiboの研究」、「図書館Weibo研究文献の定量分析」の五つの論点を中心に実施されていることが明らかになった。

一方で、中国公共図書館のWeiboサービスにおける問題点、異なる地域におけるアカウント量の不均衡、ソーシャルメディア担当者の状況と具体的運用方法についての研究はいまだに少ない。

2.3 欧米

図書館では、YouTube、Pinterest、Flickrなど、様々なソーシャルメディアが利用されているが、広く利用されているのはTwitterとFacebookである。Twitterは主に個人に対してのコミュニケーション、リアルタイムの発信を中心とし、Facebookはホームページのような仕組み、図書館のウェブサイトのように図書館の資料情報、イベント情報を提供し、利用者とのやりとしが少ない。大半の図書館は異なる機能のTwitterとFacebookを連携して使う¹¹⁾。

2018年のOCLCによる米国の公共図書館の利用者や地域とのコミュニケーション方法の調査結果によれば¹²⁾、図書館の限られた資源のなかで多くの事業を実施しており、特にソーシャルメディアに力を入れている。そうした試みが、地域社会における図書館の認知度向上に役立っていることが分かった。96%の公共図書館はソーシャルメディアを利用しており、その内訳は、Facebookが99%、Twitterが51%、Instagramが48%となっている。

Erin Fieldsらは¹³⁾、Twitterによる公共図書館のレファレンスサービスの提供と効果について調査し、Twitterが新たな交流手段として、既存のレファレンスサービスの

提供方法を大きく変化するチャンスとなることを指摘している。アメリカの全国総合ランキングトップ5の公共図書館を対象とし、Eui KyungらはTwitterの内容を分析した¹⁴⁾。現段階の利用は、新着資料のお知らせ、リアルタイムで館内状況の投稿、利用者とのやり取り、といった三つに力を入れている。投稿内容に関して、David Stuartは433館のソーシャルメディアの使用実況のデータを調査し¹⁵⁾、図書館ソーシャルメディアの投稿は主として図書館のニュースとイベント関連内容を発信し、利用者に図書館の所蔵資料の紹介などの内容を中心していることを明らかにした。

2009年に、商業図書館協会は、メディア管理者に対しアンケート調査を行なっている。メディアの種類については、最も利用されているのはブログ、次はマイクロブログであった。メディアの運用については、2010年EBSCO社がヨーロッパにおいて顧客である図書館のソーシャルメディアの運用状況を調査した、担当者が管理に費やしている時間のうち、業務時間外の時間に行っているという回答が7割程度みられた。

2.4 Weiboの利用実態

Weiboは新たな連絡手段を提供し、政府などの機関が一般公衆とのインタラクションによって、問題解決と処理の効率を上げることができる。公共機関はWeiboを通して、一般公衆の身近に参加することができるため、Weiboをどのように利用すれば、Weiboの社会サービス能力が上げられるのが鍵になる。

近年、Weiboのユーザー数は継続的に増加している。インターネット調査実験室の調査によれば、Weiboユーザーの上位四位までの代表的な行動は、(1)自分の意見と気持ちを発表するために書き込みを行う、(2)フォローしているアカウントの最新動向をチェックする、(3)トレンドの話題をチェックする、(4)話題に参加するしたり、友達のロコミを検索するであった¹⁶⁾。2011年は「中国Weibo政務元年」と呼ばれており、省レベルの行政区域の大半がWeiboによるサービスを開始した。政府以外にも、企業、福祉事業団体などでもアカウントを開設し、積極的に利用するようになっている。

2017年のWeiboの報告書によれば¹⁷⁾、月間アクティブユーザーの43.7%が女性、56.3%が男性であり、年齢層については、23歳から30歳が最も多く38.6%を占めており、次いで、18歳から22歳が27.6%、18歳以下は25.7%となっている。2017年最もユーザーに注目された話題50件を分析した結果、ユーザーが関心を持っている話題は、「社会民生」が一位の26%であり、次いで、「公共権利」、「国際政治」、「災害事故」、「国内政治」といった結果となっている。Weiboユーザーは娯楽のための利用と同時に、社会の現状への関心があることが明らかになっている。

2.5 中国の公共図書館について

中国の地方行政は、基本的に省級レベル、地級レベル、県級レベル、郷級レベルの四つのレベルに分けられる。中国の公共図書館は、地方行政のレベルによって分類されている。

現在の中国は、台湾を除く33の省級地方から構成されている。その内訳は、22省、4つ直轄市（北京市、天津市、上海市、重慶市）、5つ民族自治区（内モンゴル、広西チワン族、寧夏回族、チベット、新疆ウイグル）および2つの特別行政区（香港特別行政区、マカオ特別行政区）である

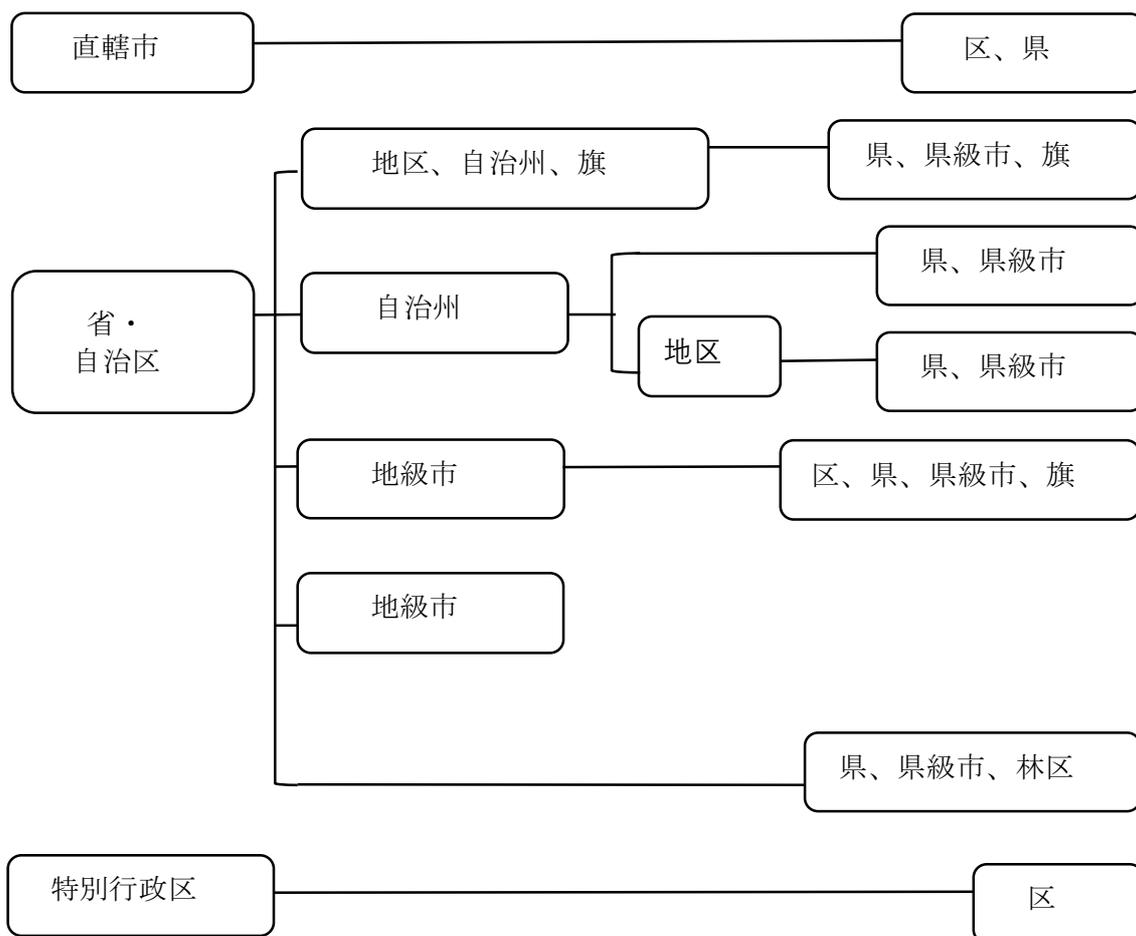


図1 中国の行政区分

図1に示したように、各行政地域は各範囲内の公共図書館を管理・運営している。1994年以降、中国国家文化部は県レベル以上の公共図書館を対象として、館内面積、年経費、館員の学歴、蔵書、貸出し回数、現代化アセスメントの六つの側面から評価を行った。「現代化アセスメント」については、ソーシャルメディアアカウントの有無と更新頻度が評価水準の一つとなっている。それぞれの項目について点数を算出した上で、総合点数を算出する。総合点数を基準とした評価の結果、対象館は一級図書館、二級図書館、三級図書館と格付けされ、認証書が発行されることとなる。

3.研究方法

まず、現段階の中国の公共図書館におけるソーシャルメディアの利用現状を把握するための実態調査を行う。調査対象としてWeiboとWechatのアカウント状況をまとめる。

次に、設置母体が異なる図書館を対象とし、実際のアカウント設置から、運用状況、課題を明らかにするため、各図書館のソーシャルメディアの担当者にインタビュー調査を実施する。

最後に、インタビュー結果に基づいて、アンケートの質問紙を作成し、中国国内で市レベル以上の公共図書館にアンケート調査を実施した。

3.1 調査対象のソーシャルメディアについて

2017年の「中国インターネット発展状況統計調査」によれば¹⁸⁾、使用率上位3位のソーシャルメディアは「Wechat」「QQ」「Weibo」となっている。ソーシャルメディアを利用する公共機関の数は徐々に増加している。2017年12月まで、インターネット上で行政サービスを利用した人は全利用者の62.9%を占めている。その中で、「Wechat」の利用率が最も顕著に増加している。次いで増加しているのは「Weibo」である。「Wechat」と「Weibo」は、「1対多」の双方向のコミュニケーションを提供するサービスであるが、その一方で、「QQ」は「1対1」のサービスが中心である。現時点では、ソーシャルメディアを利用している図書館において、「Wechat」や「Weibo」の公式アカウントを開設している事例が確定できたものの、「QQ」を利用する公共機関の事例は存在していなかったため、本研究の調査対象としない。

3.1.1 Weibo

近年、通信技術の急速な発展によって、様々な新たなソーシャルプラットフォームが人々の仕事と日常生活のなかに浸透しつつある。2009年、中国国内でSina社が開発したマイクロブログであるWeiboが主に若年層を対象として普及し始めた。利用者の数が増えるにつれて、Weiboの影響力も段々と拡大している。Weiboは中国における現代の最も代表的なソーシャルメディアとして、使用の便利性、操作の柔軟性、情報の広める速さ、内容の豊富さなどのメリットによって、利用が拡大している。政府機関はWeiboを利用し、行政情報の公開をはじめ様々な情報のお知らせを行うことができる。企業は自社商品の宣伝とプロモーションなどに役立てることが可能となる。ニュースメディアはWeiboを用いて、迅速にニュースを報道することができ、現場の状況をより早く世間に伝えることが可能になる。以上のように、Weiboは、新たなプラットフォームから生活に不可欠な情報メディアとなった。

Weiboは中国語でMicro-Blogの意味である。よって、微博とは一般的なサービスの名称であり、他にも複数の微博と称するマイクロブログサービスが提供されているが、中国国内において単に微博と言えば、「新浪微博」を指す。ユーザーたちがほかのユーザーをフォローすることで、他人が投稿する内容を見ることができる。一般的な使用法は、自分用のアカウントを登録して、インターネットを通じて、いつでも、どこでも、誰でも投稿することができ、投稿の形も様々、文字や画像やボイスやビデオなど。リアルタイムで他人の投稿がコメントとリツイートができ、自分専門の個人情報コミュニティを作ることできる。

3.1.2 Wechat

Wechatはテンセント社が提供する無料インスタント・メッセージング・アプリである。2011年1月から中国国内の利用が始まり、同年4月に、海外向けのサービスも展開された。サービス開始以来、無料、異なるモバイルネットワークオペレータの利用に関わらず、機種と関係なく、スマートフォンなら誰でも使えるなどのメリットで、2018年5月のユーザー数は10億人に達した。個人ユーザーのサービスを踏まえて、2012年8

月で、有名人、政府、企業などの期間に向けて公式アカウントのサービス提供を開始した。

Wechat 公式アカウントの利点は、リアルタイムでユーザーとやり取りすることが可能となることである。システムに質問と答えを設置することで、公式アカウントをフォローする利用者が、設置した質問に含まれる単語の内容をコメントし、システムは自動的に関連問題と答えを提示する。この仕組みを利用し、利用者が探している資料の場所が見つからない時、Wechat 公式アカウントの提示を見ながら、資料を探することができる。

Wechat の公式アカウントの特徴としては、第一に、Wechat のユーザーが膨大な数に達している点、次に、公式アカウントの作り方と利用方法が容易であること、インターネットの通信料を除けば、広告や宣伝にかかる費用はほぼゼロとなるといった点が挙げられる。そういった理由から、公式アカウントの機能の提供開始以来、企業、学校、銀行など多方面の機関が公式アカウントを開設し、カスタマイズされたサービスと宣伝を行なっている。

3.1.3 Weibo と Wechat の比較

中国におけるソーシャルメディアの代表格である Weibo と Wechat は、幅広い年齢層の人たちに利用されている。しかしながら、この二つアプリの提供するサービスとユーザー像は一部において差異がある。

共通する部分としては、情報をカスタマイズすることができるという点であろう。Weibo はユーザーがフォローするアカウントを選択することによって、自分の好みにあう情報を収集している。Wechat もまた知り合いの友達を登録したり、公式アカウントをフォローすることによって情報を選択することが可能である。現在のような情報爆発の時代において、こうした仕組みは効果的に機能していると言えるだろう。

相違点としては、まずプラットフォーム自体が異なっていることである。Weibo は広場のような場所を提供し、知らない人の意見も見ることができ、リツイート数やコメント数などの多い投稿を拡散することができる。Wechat の方は、プライバシーを重視し、リアルタイムの連絡を主眼としている。Wechat は学校のクラスに近い感覚であると言えるかもしれない。また、Weibo は著名人にもよく使われており、1つの投稿に大勢のフォロワーが反応してくれる。Wechat 上の関係は現実の友達や家族との関係を投影したものであり、親しみやすさを感じられると言える。最後に、個人画面の差である。Weibo の個人画面には、タイムラインの投稿が表示されているが、関係ない商品の広告や関心のない情報も流れることがある。プライバシーを重視する Wechat の個人画面には、自分が興味を持っている内容だけが表示され、時折、公式アカウントが広告の内容も投稿するが、その広告にアクセスしない限り広告の内容は見えない。

3.1.4 図書館専用アプリ

個人の端末で利用できるアプリは、無料であることとその手軽さから広く利用されてきた。伝統的な携帯ウェブサイトより、専用アプリの方が多様なサービスが利用できる場合が多く、個性的なデザインや豊富な機能を持つなど利点が多い。現在、企業・政府・博物館等の文化メディア組織のアプリ利用が始まりつつある。アップルストアと図書館ウェブサイトに掲載されている統計を概観すると、専用アプリは図書館がモバイルサービスを提供する有力なツールの一つになっていることが分かる。中国国内では、図

書館のオンラインサービスの提供は遅れていたと言えるが、2000年頃から、ショートメッセージと携帯ウェブサイトが始まった。2005年、上海図書館が国内初のQRコードで利用できる「携帯図書館」サービスの提供を開始した¹⁹⁾。続いて、専用アプリサービスの提供も始まり、図書館のオンラインサービスが携帯端末まで拡張されるようになった。

図書館専用アプリでは、所蔵資料の検索、貸出期間の延長、借用中の資料確認、貸出履歴などのサービスを利用することができる。かつては、図書館館内でしか得られなかった情報が、現在はインターネットの繋がる場所において、ウェブサイトを通して、いつでもどこにいても携帯を用いて自分の図書館利用状況が確認できるようになった。

中国国内では、図書館専用アプリの開発と使用はまだ初期段階にあると言える。また、地域ごとにその普及状況も均一ではなく、北京・上海・広東などのような経済的に発展している地域や教育資源が集中している地域では、図書館専用アプリの認知度も高い。図書館専用アプリの開発は、基本的には図書館と第三者のアプリ開発会社が連携して行っている。図書館利用者は、貸出サービスと広報サービスを基本機能として、図書館員と利用者の遠隔交流ができ、資料の予約に関するサービス、個人情報の確認などのサービスを個人端末で受けることが出来る。図書館専用アプリでのみ使用出来る機能は少なく、開発とメンテナンスに必要な資金の負担も重く、一部の図書館員の「図書館職員は図書に関する仕事のみで良い」といった意見もあることから、図書館専門アプリの普及は滞っている。

一般に、図書館専用アプリは本来的な意味でのソーシャルメディアとは言えないが、本研究では、アンケート項目の中に、図書館専用アプリの実際の利用状況についての項目を含めることとした。

図書館は多種多様な情報の集積地であると言え、新しい情報技術に対して、積極的に対応することが求められていると考えられる。図書館において、WeiboやWechatのようなソーシャルメディアをサービスとして取り入れることは、科学技術の発展する現代において、図書館が提供するサービスとその提供方法、ならびに、サービスの満足度を高めるために、効果的な措置であると考えられる。

以上のように、中国国内におけるソーシャルメディアの利用状況を考慮して、本研究では、「Wechat」と「Weibo」を調査対象とした。

3.2 調査対象

中国の図書館は、概ね、公共図書館、科学図書館、高校図書館の三種類に分類される。2017年時点で、中国全国の公共図書館数は3,162館である。蔵書量、敷地面積、利用人数など総合的な評価した中国10大図書館の内訳は、公共図書館8館、科学図書館1館、高校図書館1館となっている。利用者数をみると、公共図書館の最も利用されている。高校図書館は言うまでもなく学生を中心として利用されている。科学図書館は自然科学と科学技術領域の文献を提供することが主たる役割であることから、研究者などの専門家向けの資料を所蔵しており、通常、一般人が利用することはない。ここでは、公共図書館におけるソーシャルメディアの利用実態を調査する。

3.2.1 中国公共図書館におけるソーシャルメディアの利用現状

まず、調査対象となるアカウントを特定するために、2018年2月に、Weiboの「検索」機能を利用し、「図書館」を検索語として検索を行ったところ、23,610件の検索結

果が得れた。そのうち、公式に認定されたアカウントであるという条件に加えたところ、1,840件の検索結果が得られた。その上で、アカウント個人ページの内容とアカウント名を目視で確認した。

次に、本館と分館で複数のアカウントを利用している場合、投稿内容が異なるため、複数のアカウントとしてカウントした。2018年2月末までに上記の方法で収集したWeibo上の公共図書館アカウントは406館となった。

さらに、Wechatの「友達を探す」機能の「公式アカウント」を利用し、検索を行い、Wechatに公式の認定マークのついた公共図書館アカウントを目視で確認したところ、2018年3月末までに、Wechat上の公共図書館アカウントを622館収集することができた。

WechatとWeiboの両方のアカウントを持っている公共図書館は151館であった。

表1 ソーシャルメディアの利用状況

Weibo アカウントを 持っている公共図書館数	Wechat アカウントを 持っている公共図書館数	両方アカウントを 持っている公共図書館数
406	622	151

2017年の『中国統計年鑑』²⁰⁾によると、中国全国の省レベル以上の自治体における公共図書館数は40館であった。表2は、全国の省レベル以上の自治体の設置する公共図書館のうち、ソーシャルメディアを使っている図書館の状況を示したものである。

表2 省レベル以上図書館ソーシャルメディアの利用状況

設置母体		Weibo				Wechat
所在地	レベル	アカウント名	フォロ ー数	フォロ ワー数	ツイ ート数	アカウント名
北京市	直轄市	国家图书馆	144	220,000	11,490	国家图书馆
北京市	直轄市	首都图书馆	326	20,161	3537	首都图书馆
天津市	直轄市					天津图书馆
河北省	省					河北省图书馆
山西省	省	陕西省图书馆 文源讲坛	322	2548	1467	山西省图书馆
内モンゴ ル自治区	自治区	内蒙古自治区 图书馆官博	22	70,000	78	内蒙古图书馆
遼寧省	省	辽宁省图书馆	27	705	914	辽宁省图书馆
吉林省	省	吉林省图书馆	391	7307	3623	吉林省图书馆
黒竜江省	省	黑龙江省图书馆	1088	4016	10,336	黑龙江省图书馆
上海市	直轄市	上海市图书馆 信使	1060	160,000	20,037	上海图书馆
江蘇省	省					
浙江省	省					浙江图书馆
安徽省	省	安徽省图书馆	316	3279	1572	安徽省图书馆
福建省	省	福建省图书馆	248	9392	4397	福建省图书馆
江西省	省					江西省图书馆
山東省	省	山东省图书馆	1025	9851	7971	山东省图书馆
河南省	省	河南省图书馆 官微	41	462	2824	河南省图书馆
湖北省	省	湖北省图书馆 新馆	92	4969	590	湖北省图书馆
湖南省	省					湖南图书馆
広東省	省					广东省立中山图书 馆
広西チワ ン族自治 区	自治区	广西壮族自治 区图书馆	68	272	276	广西壮族自治区图 书馆
海南省	省	海南省图书馆 官微	83	2406	1602	海南省图书馆
重慶市	直轄市					重庆图书馆
四川省	省	四川省图书馆	215	20,000	1965	四川省图书馆
貴州省	省	贵州省图书馆	504	6528	1701	贵州省图书馆
雲南省	省	云南省图书馆 官博	104	1885	2681	云南省图书馆
チベット 自治区	自治区					西藏自治区图书馆
陝西省	省	陕西省图书馆	988	37807	4732	陕西省图书馆
甘肅省	省					甘肃省图书馆
青海省	省	青海省图书馆	43	443	157	青海省图书馆
寧夏回族 自治区	自治区	宁夏图书馆	114	1321	593	宁夏图书馆
新疆ウイ グル自治 区	自治区	新疆图书馆	3	20,000	4233	新疆图书馆

表3 省レベル以上図書館ソーシャルメディアの利用比率

省レベル以上図書館ソーシャルメディアの利用状況	図書館の数	比率
Weibo アカウントを持っている	22	55%
Wechat アカウントを持っている	29	72.5%
両方のアカウントを持っている	21	52.5%

表3は、中国の省レベル以上の自治体における図書館ソーシャルメディアの利用比率を示したものである。半数以上の公共図書館が Weibo アカウントを持っており、7割以上の公共図書館が Wechat アカウントを持っている。なお、Weibo アカウントを持っている図書館の多くが、併せて、Wechat アカウントも持っている。1つソーシャルメディアを利用する公共図書館は Wechat アカウントのみを利用している。

地域分布の結果を図2と図3に示した。Weibo と Wechat 両方とも、中国全体の沿海部、すなわち、経済的に発展している地域に多く分布しており、内陸部よりも多いことが分かる。

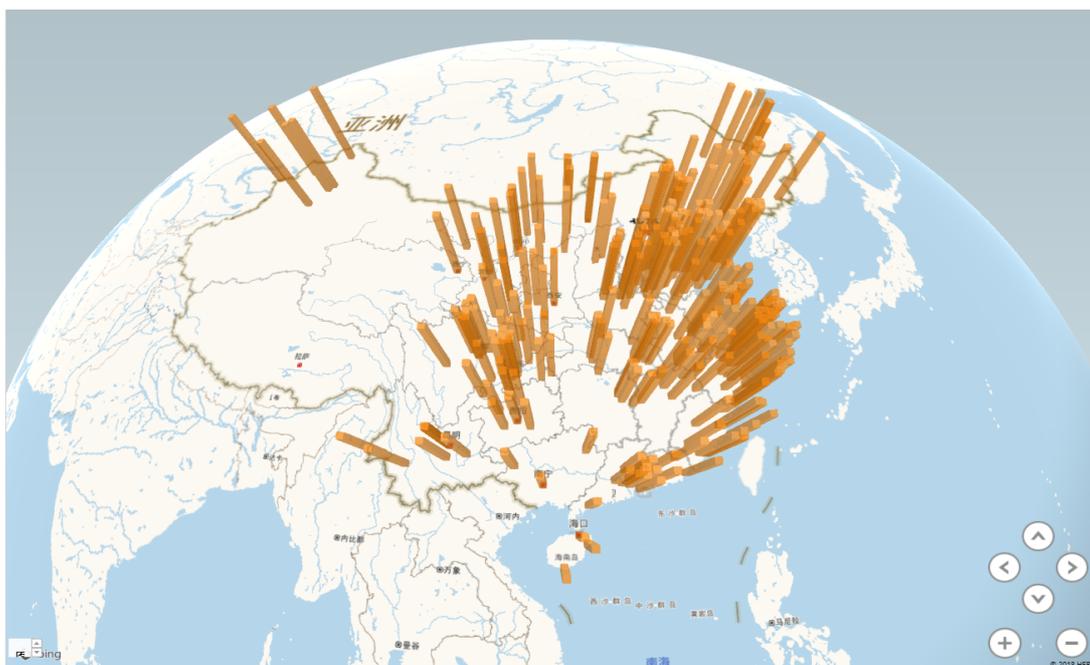


図2 全国 Wibo アカウントの分布状況

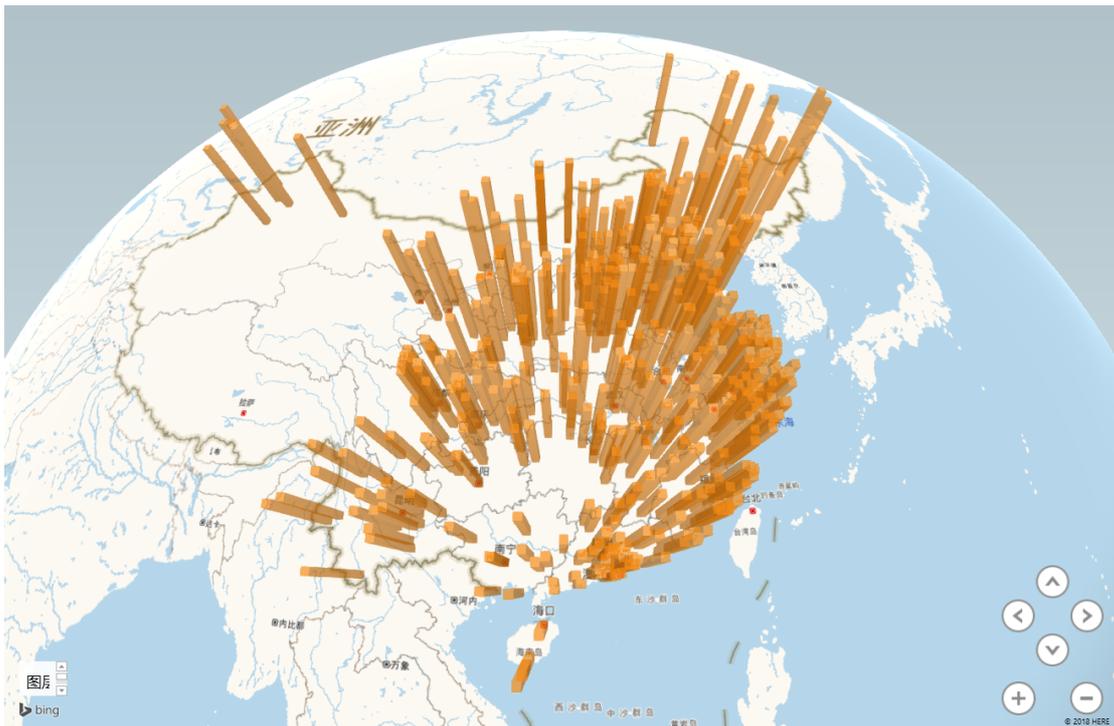


図3 全国 Wechat アカウントの分布状況

3.2.2 調査対象館

県級市の次のレベルの街道、郷・鎮の公共図書館においてもソーシャルメディアのアカウントを持つものが存在していた。しかしながら、街道と郷・鎮の公共図書館アカウントは、投稿数が少なく、また、その頻度もきわめて少ないものが多かった。また、街道と郷・鎮の公共図書館のソーシャルメディアアカウントのフォロワー数は二桁止まりといったケースが多かった。これは、小さい規模の公共図書館において、図書館の通常業務以外のソーシャルメディアの運用といった業務は、図書館員の人的資源という観点から、余裕が無かったためと考えられる。また、香港と台湾の公共図書館は研究対象から除外した。以上のように、本研究では、全国 22 省、4 つ直轄市（北京市、天津市、上海市、重慶市）、5 つ民族自治区県級市レベルの公共図書館を調査対象とする。

3.3 インタビュー調査

アンケート調査の質問紙の作成にあたり、利用状況と運用方法を把握するために、設置母体の異なる四つの自治体の公共図書館を対象としたインタビュー調査を行った。

設置母体が異なれば、その図書館の役割、利用者数や利用内容なども変わると予想されることから、設置母体ごとの違いを把握するためにも、レベルの違う自治体の図書館を対象として選定した。

3.3.1 インタビュー方法

表4に、インタビューの調査対象を示した。設置母体の行政レベル、ソーシャルメディアの利用状況、開設時間を考慮し選定した4館のソーシャルメディア担当者にインタビューを依頼し、インタビュー調査を行った。

ソーシャルメディアの利用経緯と運用方法などを全体的に把握する調査であることから、事前に設定した質問項目に従って、半構造化インタビュー法を用いた。質問項目を2018年8月27日に電子メールでインタビュー対象館に送付し、2018年9月24日から2018年10月16日の期間に、実際に調査対象館に赴いて、インタビュー調査を実施した。

インタビューは各館のソーシャルメディア担当者1名に対面で実施した。インタビュー時間はいずれの館でも概ね40分程度であった。

表4 インタビュー対象館

図書館	設置母体の行政レベル	ソーシャルメディアの種類		
		Wechat	Weibo	Weiboの開設時間
大連沙河口区図書館	市轄市	○	○	2014年01月
盤錦市図書館	地級市	○	○	2015年08月
大連市図書館	省轄市	○	×	×
瀋陽市図書館	地級市(省都)	○	○	2016年06月

1. 使用しているソーシャルメディア
 - 1.1 現在使用しているソーシャルメディアの種類
 - 1.2 利用目的
 - 1.3 アカウント開設の経緯
誰が提案したのか、開始のきっかけは何か、提案と開設の時期、開設にあたるまでの話し合い など
2. 広報手段について
 - 2.1 広報手段として使っている媒体は何か
 - 2.2 広報手段ごとの利用目的、対象などによる使い分けがあるか
3. アカウントの運用体制について
 - 3.1 担当者の人数
 - 3.2 担当者の所属と業務内容
 - 3.3 担当者の役割分担
 - 3.4 担当者の交代などの変遷
 - 3.5 アカウントの管理方法
4. 実際の運用について
 - 4.1 投稿内容
投稿内容の決まり、投稿者の違いによるバラつき、内容のチェック体制 など
 - 4.2 投稿時間
業務時間内か業務時間外か、投稿のタイミング、自動投稿など など
 - 4.3 運用上の問題点と解決方法
 - 4.4 運用・管理を工夫した点
 - 4.5 運用規則など
 - 4.6 利用した効果
実感した効果、効果の測定方法（どのような指標を見ているのか） など
5. メディア上で他のユーザーとの交流について
 - 5.1 他のユーザーの投稿をチェック
 - 5.2 メディア上で他のユーザーとのやり取りで気をつけること
 - 5.3 平均より広く拡散した内容があるのか
6. 今後のメディア利用について
 - 6.1 現在利用しているメディアのアカウントを増やす予定があるか
 - 6.2 新たに利用を考えているソーシャルメディアがあるか

図4 インタビューの質問項目

3.3.2 インタビュー調査結果

以下に、インタビュー調査の内容と結果を記す。

1) 大連沙河口区図書館

1. 使用しているソーシャルメディアについて

1.1 現在使用しているソーシャルメディアの種類

回答：Wechat と Weibo。

1.2 利用目的

回答：図書館の日常を利用者に知ってもらうというのが第一である。現在は、図書館のPRのために頻繁に利用している。

1.3 アカウント開設の経緯

回答：宣伝部門の部長が他の図書館のソーシャルメディア・アカウントを見つけたことをきっかけとして、館長に相談したことで、本館でもソーシャルメディアの使用が始めた。許可をもらってから2～3週間で、アカウントを開設した。

2. 広報手段について

2.1 広報手段として使っている媒体は何か

回答：図書館のホームページ、Wechat、Weibo。

2.2 広報手段ごとの利用目的、対象などによる使い分けがあるか

回答：特になし。

3. アカウントの運用体制について

3.1 担当者の人数

回答：2名。

3.2 担当者の所属と業務内容

回答：宣伝部門の職員。普段の業務内容は、図書館が雑誌と新聞に掲載するための文章を書くことや、ウェブサイトの内容を更新すること。曜日によって、インフォメーションデスクの仕事もある。時々、宣伝部門とは無関係の仕事もある。

3.3 担当者の役割分担

回答：投稿する文章ができた際に、時間がある人が更新する。あるいは、文章を書く人が投稿もやる。二人とも同じことをやっている。

3.4 担当者の交代などの変遷

回答：交代なし。2014年にアカウントを開設して以来、ずっと同じ担当の2名が更新をしている。基本的に、上司に内容をチェックしてもらっている。

3.5 アカウントの管理方法

回答：2人を中心に管理している。内容のチェックと新しいトピックを扱い始めた際には上司に相談する。

4. 実際の運用について

4.1 投稿内容

4.1.1 投稿内容

回答：設立開始の時は様々な内容を投稿した。当初は育児に関する内容と有名人の名言ども載せたものの、あまりに反応がなかったため、本館あるいは図書館に関する内容は一切掲載しないことに決めた。現在は、祝日の開館時間とイベント情報を中心に投稿している。

4.1.2 投稿者の違いによるバラつき

回答：担当者2名による内容の違いはとくにない。

4.1.3 投稿内容のチェック体制

回答：投稿の文章は場合によって違う。非常に簡単な内容（例えば、祝日の開館時間と区政府からのお知らせ情報など）は定型文がある。定型文を修正して投稿する。それ以外の内容は、上司に提出しチェックし、提出する。

4.2 投稿時間

4.2.1 投稿を行うのは業務時間内か、業務時間外か

回答：開館日の業務時間内に投稿している。

4.2.2 投稿のタイミング

回答：投稿内容ができ次第、投稿している。上司に渡す内容は、上司のチェックには時間がかかるので、少し遅れた投稿する状況が多い。お薦め本と新着本の情報など、ほかのアカウントで見かけた内容は、すぐ投稿する。

4.2.3 自動投稿を使用しているのか

回答：自動投稿は使用しない。

4.3 運用上の問題点と解決方法

回答：区図書館なので、他の大規模図書館のアカウントよりもフォロワー数が少ない。現在のフォロワーは大抵本館をよく利用している利用者と、そして沙河口区の住人であると推察される。フォロワー数増加のための方策として、貸し出しデスクと来館者が見やすい位置で Wechat と Weibo アカウント二次元コードの印刷物を置いたところ、興味のある人がフォローしてくれたようである。

4.4 運用・管理を工夫した点

回答：読者のリツイートとコメントの内容を素早くチェックすること。何か疑問があれば、すぐに回答する。

4.5 運用規則はどのような内容を含んでいるのか

回答：小さい規模の図書館のため、規則はない。担当者と上司の判断で運用している。

4.6 利用した効果

回答：図書館が開催した市民サービスのイベントの現場の状況を投稿することで、普段あまり図書館を利用しない区民に対して、図書館がこんなこともやっているということを認識させたところ、今後のイベントに参加したいといった意見がフィードバックされた。

5. メディア上の交流について

5.1 フォロワーの投稿をチェックしたりしているか

回答：頻繁に見る。質問に対して回答することが第一位で、いたずらの投稿があった場合は、拡散されないように適宜、削除している。

5.2 メディア上で他のユーザーとのやり取りで気をつけることがあるか

回答：利用者の質問に対して丁寧に回答すること。

5.3 平均より広く拡散した内容があるのか

回答：沙河口区内の高齢者を対象としたスマホとパソコンの操作方法の講座についての投稿は、通常の閲覧数の二倍になった。今後も高齢者を対象にする講座を開く予定がある。

6. 今後のメディア利用について

6.1 現在利用しているメディアのアカウントを増やす予定があるか

回答：なし。

6.2 新たに利用を考えているソーシャルメディアがあるか

回答：なし。

2) 盤錦市図書館

1. 使用しているソーシャルメディアについて

1.1 現在使用しているソーシャルメディアの種類

回答：Wechat と Weibo。

1.2 利用目的

回答：図書館の利用者との交流を増やしたいため、ソーシャルメディアというプラットフォームを使い始めた。図書館の新しいニュースを迅速に利用者に伝えたい。

1.3 アカウント開設の経緯

回答：館内の閲覧普及センターの職員が提案し、他の図書館のソーシャルメディアのアカウントを見たことをきっかけに、提案してからすぐ開設した。2016年に開設した。

2. 広報手段について

2.1 広報手段として使っている媒体は何か

回答：図書館館内の雑誌がある。外部に宣伝することがない。

2.2 広報手段ごとの利用目的、対象などによる使い分けがあるか

回答：特になし。

3. アカウントの運用体制について

3.1 担当者の人数

回答：1名

3.2 担当者の所属と業務内容

回答：閲覧普及センターに所属し、日常の業務は図書館の広報に関する内容を担当する。Wechat 公式アカウントと Weibo アカウントの内容更新、プレスリリース、図書館雑誌の編集と出版、図書館の読書に関するイベントの企画と実行などの内容を中心に担当する。

3.3 担当者の役割分担

回答：すべて1名のみで担当している。

3.4 担当者の交代などの変遷

回答：なし。

3.5 アカウントの管理方法

回答：とくに規則はない、上司と担当者の判断で管理している。

4. 実際の運用について

4.1 投稿内容

4.1.1 投稿内容

回答：閲読普及センターでニュースを収集し、整理し、文書化した内容を館長にチェックしてから投稿する。

4.1.2 投稿者の違いによるバラつき

回答：1名が担当しているので、バラつきがないと思われる。

4.1.3 投稿内容のチェック体制

回答：上司がチェックしてから投稿している。

4.2 投稿時間

4.2.1 投稿を行うのは業務時間内か、業務時間外か

回答：決まった投稿時間はないが、すべて開館日の業務時間内に投稿している。

4.2.2 投稿のタイミング

回答：投稿したい内容がある時に随時、投稿する。

4.2.3 自動投稿を使用しているのか

回答：自動投稿機能は使用していない。

4.3 運用上の問題点と解決方法

回答：特になし。

4.4 運用・管理を工夫した点

回答：市民に対して、読書を奨励することや地域文化の内容に力を入れること。

4.5 運用規則はどのような内容を含んでいるのか

回答：特になし。

4.6 利用した効果

回答：ソーシャルメディアで広報したイベントの来場員数が明らかに増えたこと。

5. メディア上の交流について

5.1 フォロワーの投稿をチェックしたりしているか

回答：はい。

5.2 メディア上で他のユーザーとのやり取りで気をつけることがあるか

回答：わかりやすい言葉を使用することと丁寧に回答すること。

5.3 平均より広く拡散した内容があるのか

回答：「24時間都市書房」¹の設立についての内容は広い範囲で注目された。閲読量とコメント数は普段の平均値を超えた。

6. 今後のメディア利用について

6.1 現在利用しているメディアのアカウントを増やす予定があるか

回答：将来的には増やしたいけど、今はまだ検討中。

6.2 新たに利用を考えているソーシャルメディアがあるか

回答：はい、現在非常に人気があるTikTokなどは考えているが、図書館が動画アプリで何を投稿すべきか分かっていない状態である。

¹ 24時間都市書房：図書館が一部の部屋は24時間開放することである。

3)大連市図書館

1. 使用しているソーシャルメディアについて

1.1 現在使用しているソーシャルメディアの種類

回答：Wechat と Weibo。

Wechat アカウントは二つあり、本館の公式アカウントと英語コーナーの公式アカウントがある。

1.2 利用目的

回答：本館の広報力を高めるため、本館の図書に関するイベントを企画する際に、ネットを通じて、広い範囲で広報するため。別館で開催するイベントの詳しい情報も発信している。

1.3 アカウント開設の経緯

回答：広報部門の職員が提案した。日常生活によくソーシャルメディアを利用している職員がたまたまほかの図書館のアカウントを見かけたのがきっかけであった。宣伝部門の部長に提案し、許可をもらってから Wechat と Weibo の公式アカウントの申請を行った。提案から使い始めまでは1ヶ月未満であった。

2. 広報手段について

2.1 広報手段として使っている媒体は何か

回答：インターネット上では、Wechat と Weibo だけ。館内のイベント以外のことは広報しない。

2.2 広報手段ごとの利用目的、対象などによる使い分けがあるか

回答：特になし。

3. アカウントの運用体制について

3.1 担当者の人数

回答：2～3名。

3.2 担当者の所属と業務内容

回答：宣伝部門とバックオフィスに所属する職員。宣伝部門は図書館と外部を繋げる役で、取材とイベントに関する内容全部担当する。バックオフィスは図書館内部資源の管理をしている。

3.3 担当者の役割分担

回答：分担なし。新しいニュースを出す時、その日に出勤する人が文章を書いて、部門内でチェックし、部長に確認してもらってから投稿する。

3.4 担当者の交代などの変遷

回答：なし。アカウント開設以来は、担当者は変わらない。

3.5 アカウントの管理方法

回答：決められたルールはない。

4. 実際の運用について

4.1 投稿内容

4.1.1 投稿内容

回答：投稿内容は本館が開催するイベント、別館のイベント、ほぼイベントを中心に発信している。他の内容は、その日の担当者が見つけた情報次第に投稿する。

- 4.1.2 投稿者の違いによるバラつき
回答：バラつきはない。文章を書く人が一人ではないが、その内容を審査する部長が同じ人であるため。投稿するかどうかは全て部長の判断になる。
- 4.1.3 投稿内容のチェック体制
回答：部門内では、文章の言葉遣いをチェックする。内容のチェックは部長に任せる。
- 4.2 投稿時間
- 4.2.1 投稿を行うのは業務時間内か、業務時間外か
回答：全部業務時間内である。
- 4.2.2 投稿のタイミング
回答：部長が内容をチェックし、投稿できる許可をもらった時に投稿する。特定の投稿時間はない。
- 4.2.3 自動投稿を使用しているのか
回答：自動投稿は使用しない。
- 4.3 運用上の問題点と解決方法
回答：一時に投稿したい内容が多く、部長の内容審査に時間がかかりすぎて、投稿の最も効果的なタイミングを逃したことがある。現在では、1つずつでも、投稿できるニュースが出るたびに、すぐ文章を書いて、部長に提出する。
- 4.4 運用・管理を工夫した点
回答：不定期に、当時の内容についての特集を作る。
- 4.5 運用規則はどのような内容を含んでいるのか
回答：運用規則はない。
- 4.6 利用した効果
回答：読者はどのようなイベントに興味が強いか、コメント数と閲覧数から分かることから、マーケティングツールとしても利用できる。
5. メディア上の交流について
- 5.1 フォロワーの投稿をチェックしたりしているか
回答：はい。コメントが出る時にすぐチェックする。読者の質問などに回答する。
- 5.2 メディア上で他のユーザーとのやり取りで気をつけることがあるか
回答：利用者はいつも第一位という理念を貫徹し、回答の速さと内容の正確さを重視している。
- 5.3 平均より広く拡散した内容があるのか
回答：図書館の新施設「図書カー」²設立のニュースと毎月のスケジュールの投稿は一般的な投稿より広く拡散された。
6. 今後のメディア利用について
- 6.1 現在利用しているメディアのアカウントを増やす予定があるか
回答：なし。
- 6.2 新たに利用を考えているソーシャルメディアがあるか
回答：なし。

2図書カー：図書館の所蔵資料をトラックに乗せて、バスのように毎日固定路線に走る。固定の停車位置に資料の借り出しができる。

4) 瀋陽市図書館

1. 使用しているソーシャルメディアについて

1.1 現在使用しているソーシャルメディアの種類

回答：Wechat と Weibo。

1.2 利用目的

回答：本館の開館情報、行事・イベント案内、日常生活に関する内容等を発信する。

1.3 アカウント開設の経緯

回答：本館の館員が提案し、館長に許可を得てから開設した。

2. 広報手段について

2.1 広報手段として使っている媒体は何か

回答：本館のホームページを中心に、ほかの広報手段はとくにない。

2.2 広報手段ごとの利用目的、対象などによる使い分けがあるか

回答：特になし。

3. アカウントの運用体制について

3.1 担当者の人数

回答：2～3名。

3.2 担当者の所属と業務内容

回答：本館のデータセンターに所属する職員がソーシャルメディアを担当する。データセンターは、本館全てのインターネット関連内容を担当する業務部門である。

3.3 担当者の役割分担

回答：分担はない、ソーシャルメディアに関係する仕事がある時、手がすいている人が投稿する。

3.4 担当者の交代などの変遷

回答：なし。

3.5 アカウントの管理方法

回答：特になし。

4. 実際の運用について

4.1 投稿内容

4.1.1 投稿内容

回答：本館の情報を中心に投稿する。イベントや臨時のお知らせや開館情報など。

4.1.2 投稿者の違いによるバラつき

回答：なし。内容はすべて上司がチェックしている。

4.1.3 投稿内容のチェック体制

回答：投稿内容の妥当性については上司がチェックする前に、部門内でのチェックもある。

4.2 投稿時間

4.2.1 投稿を行うのは業務時間内か、業務時間外か

回答：開館日の業務時間内である。

4.2.2 投稿のタイミング

回答：投稿内容ができる時と内容のチェックが終わる時に投稿する。

- 4.2.3 自動投稿を使用しているのか
回答：自動投稿は使用しない。
 - 4.3 運用上の問題点と解決方法
回答：特になし。
 - 4.4 運用・管理を工夫した点
回答：特になし。
 - 4.5 運用規則はどのような内容を含んでいるのか
回答：簡単な運用規則はあるが、文章かした運用規則ではない。
 - 4.6 利用した効果
回答：特になし。
- 5. メディア上の交流について
 - 5.1 フォロワーの投稿をチェックしたりしているか
回答：提示する時は必ずチェックする。
 - 5.2 メディア上で他のユーザーとのやり取りで気をつけることがあるか
回答：返事の速さを重視している。
 - 5.3 平均より広く拡散した内容があるのか
回答：特になし。
- 6. 今後のメディア利用について
 - 6.1 現在利用しているメディアのアカウントを増やす予定があるか
回答：なし。
 - 6.2 新たに利用を考えているソーシャルメディアがあるか
回答：なし。

3.3.3 インタビュー結果まとめ

1) 開設

今回インタビューした図書館における Weibo の開設経緯は、職員がほかの図書館の Weibo アカウントを見かけたのがきっかけとなった場合と、ソーシャルメディアに詳しい職員が開設を提案するという2つのパターンが多かった。Wechat では、2013年に、Wechat の運営会社が公式アカウントのサービスを提供し始め、それ以降、公共図書館においても、公式アカウントを設立し始めたようである。Wechat と Weibo の2つメディアを同時に更新する際は、同じ内容を投稿していることが多い。

スマートフォン時代となり、公共機関も市民へのより近い発信手段を求めている。ソーシャルメディアは無料、利便性、簡単に始められるといったことなどから、図書館員が図書館の利用者に様々な情報を提供するため、館内の情報をリアルタイムで伝えるための広報手段の1つとして使用することを目的として開設されている。

図書館専用アプリの存在は、図書館職員の中での認知度が高いが、専用アプリを持っているのは大規模な自治体の図書館のみであり、市レベル以下の公共図書館は専用アプリをつくる財政的余裕がないため、現段階では無料のソーシャルメディアを利用している図書館が多い。

2) 運用と管理

ソーシャルメディアは新たなメディアであることから、公式アカウントの管理者も個人ユーザも、その使い方について試行錯誤している。ソーシャルメディアは比較的最近の流行したものであることから、アカウントを開設した館員が引き続き管理を続けて

いる例が多い。インタビュー結果によると、アカウントの管理者はいるものの、成文化された運用ルールを整備するといった図書館はまだ少ない。

投稿内容に関しては、主に図書館の情報と図書館の所在する地域のニュースを投稿している。担当者が投稿内容を探し、文書化し、他の管理者あるいは上司に確認してもらってから投稿するのが一般的なパターンであったが、全体的に、担当者の自由度が高いことがわかった。内容のチェックには時間がかかり、リアルタイムで投稿できない場合もあった。投稿時間は文章ができ次第、あるいは、担当者が思いついたときであり、決まった時間に投稿するという図書館はなかった。

アカウントの管理は担当者と直属の上司という例が多かった。ソーシャルメディアの管理や投稿に携わる職員数は、多い場合であっても5人程度であった。

次に、中国の公共図書館におけるソーシャルメディアの利用と管理の全国的な状況を把握するためにアンケート調査を実施した。

3.4 アンケート調査

3.4.1 調査方法

インタビュー調査の結果に基づいて、いくつかの選択肢を加えて、質問紙を作成した。「問巻星」という調査会社のウェブサイトを利用した。

「問巻星」のウェブサイトにてアンケート調査の質問を設置し、アンケートのURLとQRコードを作成し、依頼文と共に、電子メールでアンケート対象館に送付した。

調査期間は2018年11月19日から12月16日までであった。

3.4.2 質問紙

質問紙は「利用経緯」「管理について」「運用について」の3項目(24問)で構成した。「利用経緯」は、問1から問7まで、対象館が現在使っているソーシャルメディアの種類、アカウント開設目的、図書館広報の方法について状況を聞いた。「管理について」はソーシャルメディア・アカウントの管理方法を把握するため、問8から問17まで、担当者人数・交代方法・役割分担・管理ルール・投稿状況などを詳しく尋ねた。「運用について」は、問18から問24までであり、開設から現在の運用状況を捉えるとともに、現状とこれからの計画を明らかにした。

調査対象は中国の公共図書館であることから、質問紙は中国語で作成した。付録に実際に送った質問紙と日本語訳の質問紙をつける。

4. 調査結果

4つ直轄市(北京市、天津市、上海市、重慶市)の公共図書館、5つの民族自治区県級市と22省の合計313地級市の公共図書館のウェブサイトアクセスし、ウェブサイトにてメールアドレスを掲載している公共図書館(計150館)に依頼文とウェブアンケートを送付した。その中、21館がウェブサイトに掲載したメールアドレスが誤り、依頼メールが届かない。残った129館の中、58館から回答があった。無効アンケートを除いた後、有効回答数は54であり、回答率は41.8%である。

表5 メールアドレスを掲載している公共図書館内訳

メールアドレスを 掲載している図書館	館数	比率
直轄市図書館	3	60%
省レベル図書館	14	63.6%
河北省の市レベル図書館	6	54.5%
山西省の市レベル図書館	3	27.3%
内モンゴル自治区の市レベル図書館	4	33.4%
遼寧省の市レベル図書館	7	50%
吉林省の市レベル図書館	5	55.6%
黒竜江省の市レベル図書館	7	53.8%
江蘇省の市レベル図書館	4	30.8%
浙江省の市レベル図書館	6	54.5%
安徽省の市レベル図書館	4	25%
福建省の市レベル図書館	5	55.6%
江西省の市レベル図書館	3	27.2%
山東省の市レベル図書館	7	41.2%
河南省の市レベル図書館	9	52.9%
湖北省の市レベル図書館	5	41.7%
湖南省の市レベル図書館	7	53.8%
広東省の市レベル図書館	19	90.5%
広西チワン族自治区の市レベル図書館	6	42.9%
海南省の市レベル図書館	0	0%
四川省の市レベル図書館	8	44.4%
貴州省の市レベル図書館	2	33.3%
雲南省の市レベル図書館	3	18.8%
チベット自治区の市レベル図書館	1	14.3%
陝西省の市レベル図書館	5	50%
甘粛省の市レベル図書館	2	16.7%
青海省の市レベル図書館	3	37.5%
寧夏回族自治区の市レベル図書館	0	0%
新疆ウイグル自治区の市レベル図書館	2	14.2%
合計	150	

4.1「利用経緯」

問1 現在使用しているソーシャルメディアの種類について

表6 ソーシャルメディアの種類

有効回答 54 (複数回答可)	回答数	割合
Weibo	44	81.48%
Wechat	53	98.15%
図書館専用アプリ	4	7.41%
その他	4	7.41%

現在利用中のソーシャルメディアについて、最も使われているのはWechat、次はWeiboであった。「その他」には、「政府管理システムサイト」、「図書館ウェブサイト」、「豆瓣」といった回答が見られた。

「豆瓣」とは2005年にサービス提供を開始したユーザー参加型コミュニティサイトである。書籍・音楽・映画のレビュー投稿を中心に、ユーザーの登録したデータに基づくレコメンド機能や、ユーザー同士の交流が可能となるSNS機能など、さまざまなサービスを提供している。図書館が「豆瓣」のアカウントを持つことで、館員は図書館ウェブサイトや通常のソーシャルメディアアカウント以外にも、利用者とやりとりをしたり、質問にを回答するための別のチャンネルを手にしたと言える。

調査票において、図書館専用アプリを選択した回答館には、アプリのダウンロード数を回答するようながす設定とした。得られた有効回答は、300、500、1,000、5,000などであった。匿名アンケートとしたため、ダウンロード数と地域の関係は明らかではないが、ダウンロード数だけを見ると、図書館によってダウンロード数に大きな差が見られる。現状の図書館専用アプリは、提供するサービスに大きな違いはなく、アカウントを登録して利用する際にIDとパスワードの入力が求められるなど不便な面もあることから、利用者数とダウンロード数の増加の停滞の要因となっていると推察される。

問2 ソーシャルメディアアカウントの開設目的について

表7 アカウントの開設目的

有効回答 54 (複数回答可)	回答数	割合
図書館全体の宣伝	53	98.15%
図書館イベントの宣伝	24	44.44%
図書館資料のお知らせ	15	27.78%
図書館に関する内容の拡散	24	44.44%
使用者との交流	34	62.96%
その他	3	5.56%

アカウントの開設目的について、最も多かったのは「図書館全体の宣伝」(98.15%)であった。続いて、「使用者との交流」が62.96%であった。「その他」には、「全国図書館レベル評価」、「利用している資料の状況確認」、「電子資源の推進と拡大」などが挙げられていた。

全国図書館レベル評価の標準には、「現代化テクノロジー技術、データベース建設、自動化ネット建設」という項目があり、各図書館を評価する際に、これらの項目に基づいて、点数が計算される。この結果によって、図書館のレベル評価がされる。また、図書館のサービスに関して、「WeiboとWechatがあるか」という項目が1つの評価基準になっており、アカウントを持っている場合、5点が加点される。さらに、定期的に投稿する(少なくとも月に2回)ことで、プラス5点が加点されることなどから、ソーシャルメディア・アカウント開設の誘因となっている。

問3 ソーシャルメディアアカウント開設のきっかけについて

表8 アカウント開設のきっかけ

有効回答 54	回答数	割合
他館のアカウントを見かけた	32	66.67%
館員の意見	10	20.83%
利用者の意見	3	6.25%
その他	3	6.25%

アカウント開設のきっかけには、「他館のアカウントを見かけた」が最多の66.67%であった。次いで多い回答が「館員の意見」の20.83%である。「その他」には、「全国図書館レベル評価」や「ソーシャルメディアの宣伝力を体験し、アカウントを開設の必要性を感じた」などの回答があった。

「全国図書館レベル評価」以外の回答としては、ソーシャルメディアの宣伝効果を体験したことで、図書館でもアカウントの必要性を感じたという回答が多くに見られた。今の時代において、ソーシャルメディアは人々日常生活の一部になっており、図書館がもっと人々の身近な存在になる大きいチャンスとなっているものとみられる。

問4 ソーシャルメディアアカウント開設の提案者について

表9 アカウント開設の提案者

有効回答 54 (複数回答可)	回答数	割合
宣伝部門の部長	5	9.26%
宣伝部門の部員	9	16.67%
よくソーシャルメディアを使う館員	43	79.63%
利用者	0	0%
その他	4	7.41%

開設を提案したのは、「よくソーシャルメディアを使う館員」が79.63%最も多かった。宣伝部門の所属者は部長と部員を合わせて、25.93%を占めている。「その他」には、「館長」、「指導層」といった回答が見られた。図書館の広報を直接担当する職員だけではなく、管理職の人々もソーシャルメディアを重視していることが分かった。

問5 ソーシャルメディアアカウント提案から設立までの時間について

表10 アカウント提案から設立までの時間

有効回答 54	回答数	割合
当日	7	12.96%
一週間内	34	62.96%
二週間内	6	11.11%
1ヶ月内	5	9.26%
2ヶ月内	0	0%
その他	2	3.7%

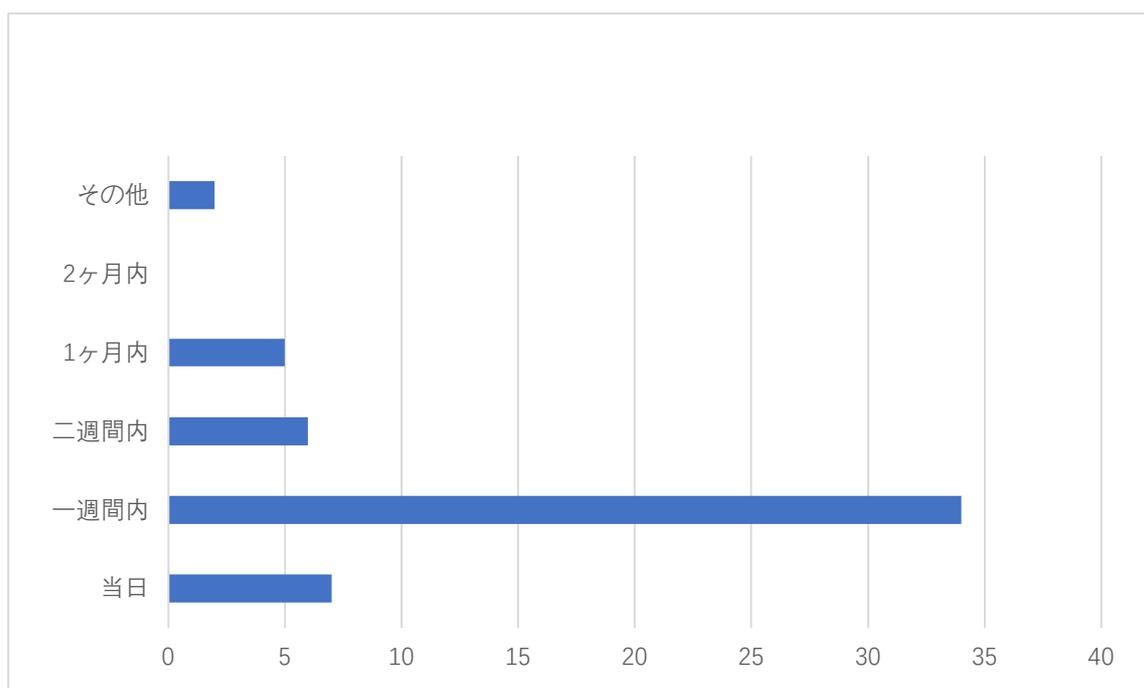


図5 アカウント提案から設立までの時間

提案から開設まで、一週間内に開設したという回答が最も多い。大半が1ヶ月以内に開設が完了している。「その他」には、「開設は当日に行ったが、公式に認定してもらうための書類の準備には時間がかかる」や「公式に認定してもらう方法が分からなかったため時間がかかった」といった回答があった。

Weibo には、申し込み資料と同じ名前の官印と組織の証明書が必要である。また、アカウント名と組織名が異なる場合、追加資料が必要となる。アカウント名と図書館名が異なるようなアカウントを開設する場合、通常より多くの時間がかかることが考えられる。

Wechat には、申し込み資料を記入後に審査があり、資料は不備がある時、修正と再審査が必要になる。

問 6 現在の宣伝媒体について

表 11 現在の宣伝媒体

有効回答 54 (複数回答可)	回答数	割合
図書館のウェブサイト	43	79.63%
図書館雑誌	3	5.56%
ソーシャルメディアアカウント	53	98.15%
宣伝しない	0	0%
その他	1	1.85%

現在の宣伝媒体について、ソーシャルメディアが最も多かった。次に、79.63%の回答館が図書館のウェブサイトを広報のためのメディアとして利用している。「図書館雑誌」は比較的少なかった。「その他」には、「ラジオとテレビなど伝統的な方法と新たなメディアを組み合わせている」といった回答が見られた。

問 7 異なる対象に対して宣伝方法について

表 12 異なる対象の宣伝方法

有効回答 53	回答数	割合
はい	5	9.26%
いいえ	48	88.89%
無回答	1	1.85%

異なる対象に対する広報の方法について、回答館の 88.89%が「いいえ」と答える。「はい」の 5 館には、「豆瓣」、「館内にはポスターを貼ったり、宣伝エリアにチラシを配布したり」、「館内の LED スクリーンの対象は来館者、図書館の入り口の宣伝エリアの対象は公衆、チラシの対象はお年寄りなど」、「電子機器が苦手な高齢者には図書館のチラシを配布する」、「若い年代にはソーシャルメディアで、高齢者にはチラシなどの紙媒体と電話を利用している」などの回答が得られた。

この設問では、問 10 の結果に示したように、現在、図書館の広報のためのメディアの大半はネットであることから、電子機器が上手く使えないことが想定される高齢者等に対して、カスタマイズされた広報の方法があるかなどを尋ねることを目的としていたが結果として、一部の図書館では、紙媒体などの伝統的な方法を使って、異なる年齢層の図書館使用者について考慮していることが明らかになった。

4.2「管理について」

問 8 現在の担当者数について

表 13 担当者数

有効回答 54	回答数	割合
1 人	3	5.56%
2～3 人	47	87.04%
3 人以上	4	7.41%
その他	0	0%

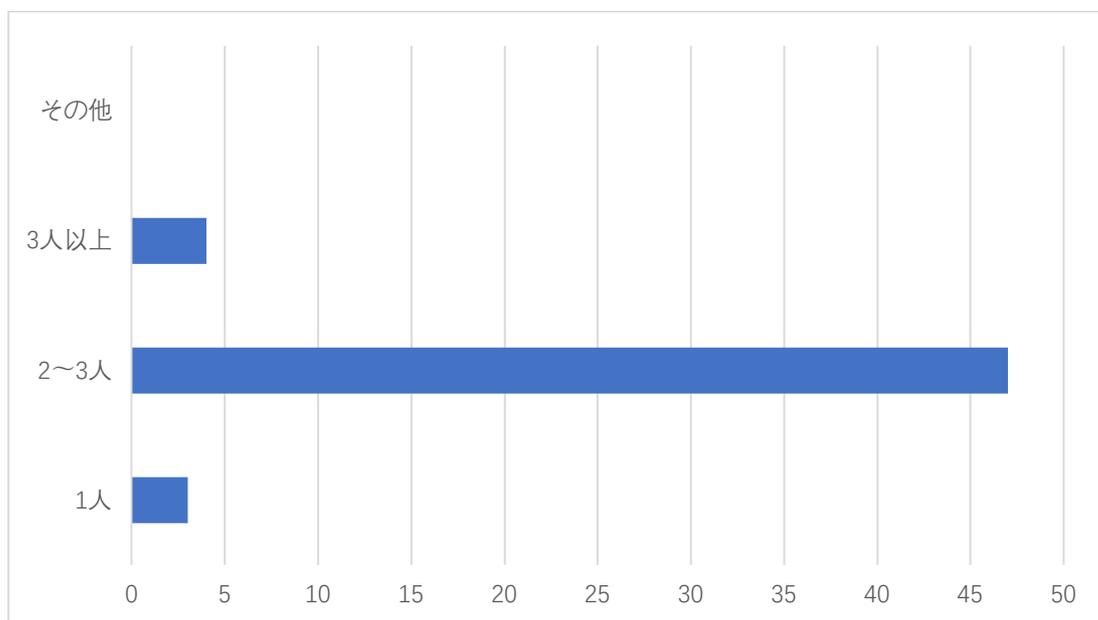


図 6 担当者数

ソーシャルメディアの担当者人数について、2～3人体制のが最も多い。1人が全部の内容を担当する図書館や3人以上の交代制といった回答も見られた。

問9 現在の担当係について

表14 担当係

有効回答 53	回答数	割合
ソーシャルメディアの専門部門	1	1.85%
図書館の広報部門	31	57.41%
その他	21	38.89%
無回答	1	1.85%

ソーシャルメディア担当者の所属部門について、広報部門に所属する職員というのが一般的であると考えられる。「その他」としては、「バックオフィス」、「技術部」、「読者サービス部」、「デジタル化部」などの回答が得られた。「ソーシャルメディア専門部」を設置している図書館は回答館の中で1館のみあった。

問10 仕事分担について

表15 仕事分担

有効回答 50	回答数	割合
仕事分担しない	4	7.41%
異なる内容について専門の人が担当	35	64.81%
出勤する人がその日を担当	11	20.37%
その他	0	0%
無回答	4	7.41%

業務の分担について、「異なる内容について専門の人が担当する」のが64.81%に占めている。次いで、出勤日によって担当者が変わる図書館が20.37%であった。分担せず、一人の担当者のみで運用する図書館も4館（7.41%）であった。

問11 仕事交代について

仕事の交代については、アンケート調査票で、担当者が2人以上と回答した際に提示される質問となっている。

業務の交代については、「週替わり制」、「それぞれの項目について専門の担当者が担当する」、「部門内で時間のある人が担当する」、「WeiboとWechatについて別々の担当者がある」などの回答が見られた。それ以外では、「アカウント開設以来の時間が長くない、職員の移動がないため、仕事の交代もない」といった回答もあった。

問 15 更新時間について

表 19 更新時間

有効回答 54	回答数	割合
業務時間内	28	51.85%
業務時間外	0	0%
不定时（適宜、更新）	22	40.74%
担当者が決める	2	3.7%
その他時間帯	2	3.7%

回答館の更新時間は業務時間外が無い。「不定时」のが 40.74%になっている。「担当者の判断で決める」のが 3.7%となっている。「その他」には、「毎週の水曜日、金曜日、日曜日に更新する」と「一年 365 日毎日更新する」といった回答があった。

問 16 投稿時間帯について

表 20 投稿時間帯

有効回答 54	回答数	割合
午前	3	5.56%
午後	2	3.7%
夕方	4	7.41%
不定时（適宜、投稿）	44	81.48%
担当者が決める	1	1.85%

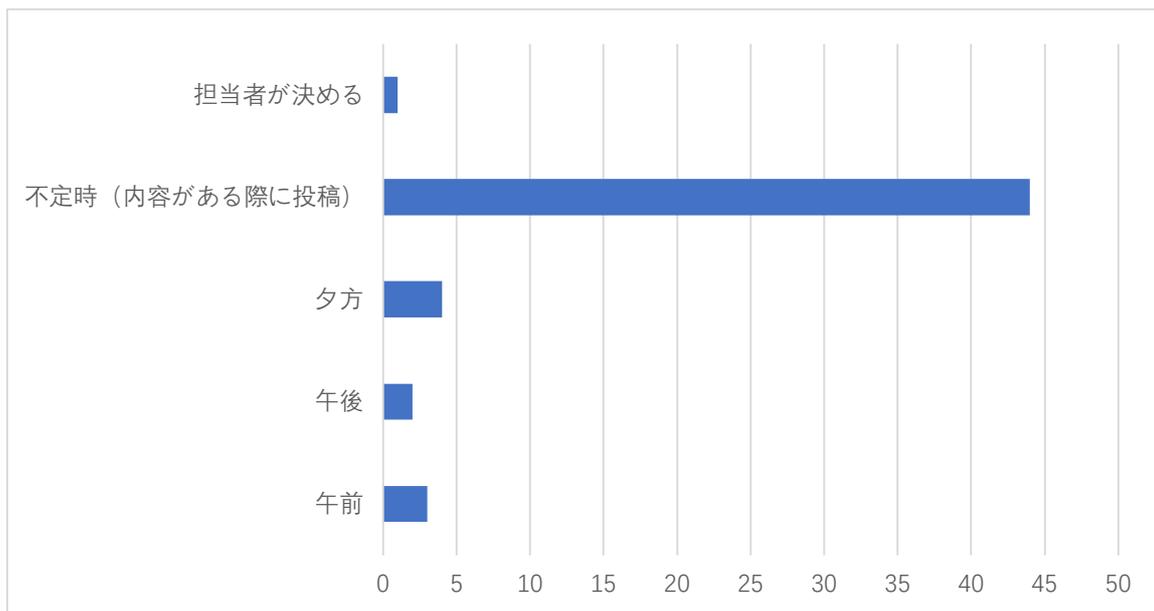


図7 更新時間

投稿時間帯について、「不定時」と答えたのが最も多い81.48%となっている。午前、午後と夕方は5.56%、3.7%、7.41%、大きく差が感じられない。「担当者が決める」と答えたのは1つ回答館であった。

問17 自動投稿について

表21 自動投稿

有効回答 53	回答数	割合
使用する	8	14.81%
使用しない	45	83.33%
無回答	1	1.85%

自動投稿については、回答館の中で使用していない図書館が多く45館（83.33%）となっている。自動投稿を使用している図書館は8館（14.81%）存在した。

4.3 「運用について」

問 18 運用・管理を工夫した点

表 22 工夫した点

有効回答 53	回答数	割合
ある	6	11.11%
ない	47	87.04%
無回答	1	1.85%

ソーシャルメディア・アカウントの運用に関して、とくに工夫したことはないとする回答館が 87.04%となった。「ある」と答えた対象館に具体的内容を尋ねた、「投稿内容の選択」、「写真、ビデオの選択」、「イベント企画と宣伝」、「フォロワーを増やせる」などの答えを得られた。

問 19 アカウント開設後の効果について

表 23 開設後の効果

有効回答 54 複数回答可。	回答数	割合
フォロワー数増加	35	64.81%
コメント数増加	10	18.52%
リツイート数増加	8	14.81%
来館人数増加	8	14.81%
イベント参加人数増加	38	70.37%
資料の問い合わせ数増加	9	16.67%
著しい効果が無い	2	3.7%
その他	0	0%

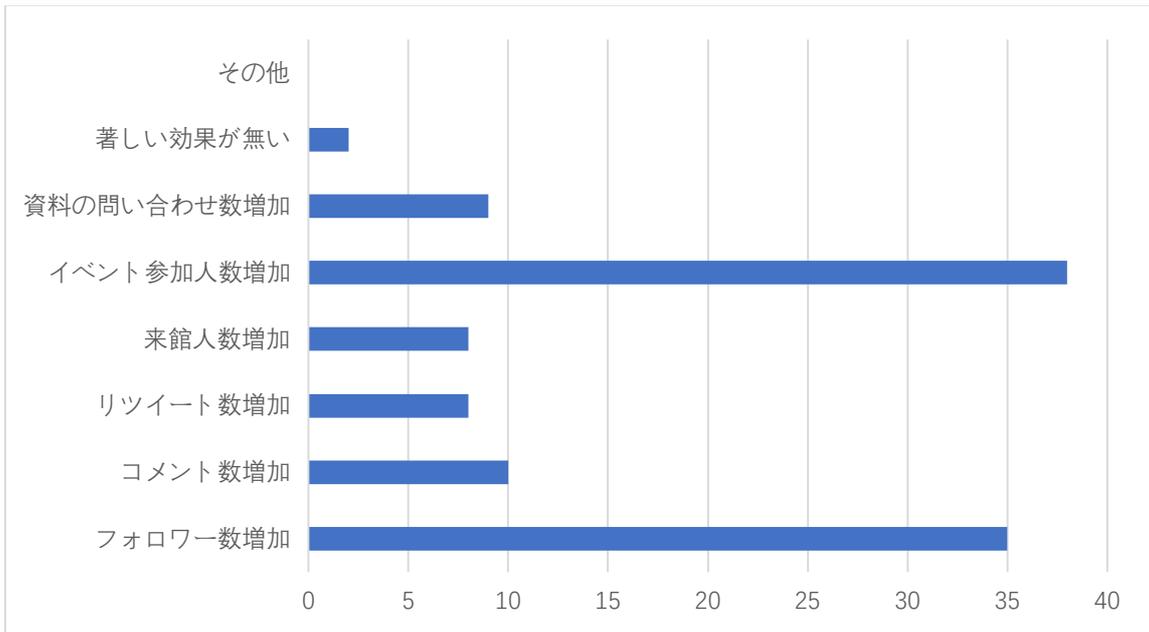


図 8 開設後の効果

アカウント開設後の効果について、最も体感できたのは「イベント参加人数増加」と「フォロワー数増加」であった。コメント数、問い合わせ数、リツイート数、来館人数の変化と回答した感は 10 館程度にとどまった。また、「著しい効果が無い」という回答も 3.7%存在した。

問 20 ソーシャルメディアの宣伝について

表 24 ソーシャルメディアの宣伝

有効回答 54 (複数回答可)	回答数	割合
リアルタイムで館内状況を投稿	29	53.7%
投稿にハッシュタグをつける	5	9.26%
抽選イベントを企画	14	24.07%
イベントと連携	42	77.78%
その他	0	0%

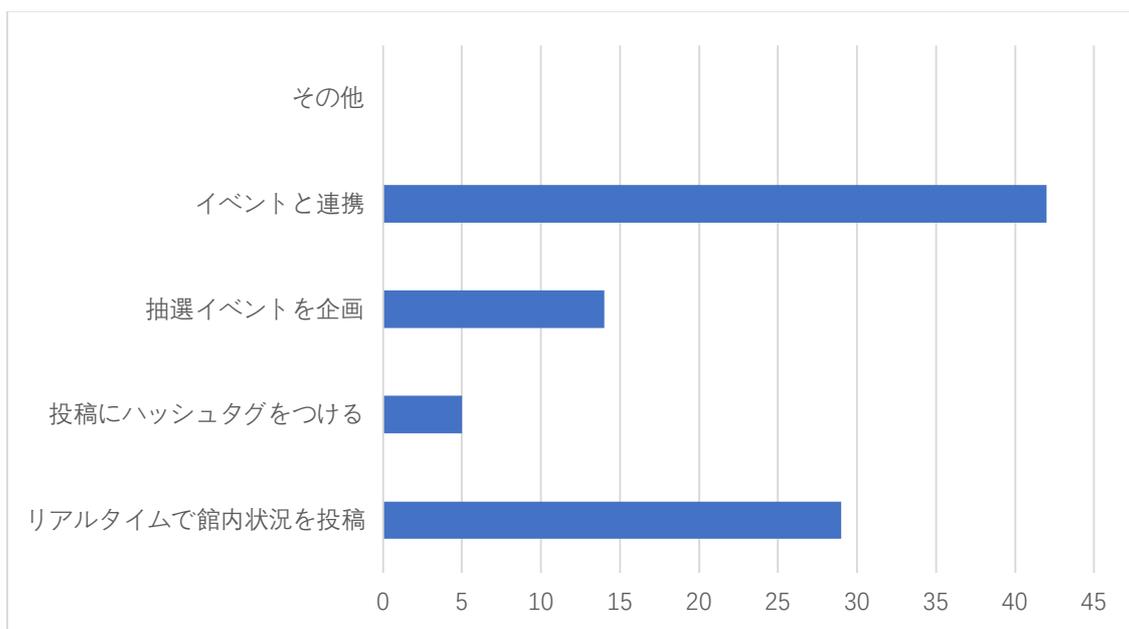


図9 ソーシャルメディアの宣伝

ソーシャルメディアの広報力を上げるため、ソーシャルメディアアカウントを宣伝することについて、77.78%の回答館が「イベントと連携」と回答した。次に53.7%の回答館が「リアルタイムで館内状況を投稿」した。

問21 他ユーザーとのやりとりに注意した点について

公共機関のアカウントとして、担当者が、ネット上の他ユーザーとやりとりする時に注意したこととしては、「質問に対する回答の速さと正確さ」、「言葉遣いの丁寧さ」、「クレームへの対応方法」、「いたずらのコメントを無視する」などの答えが得られた。

問22 平均より広く拡散した内容について

表25 平均より拡散した内容

有効回答 52	回答数	割合
ある	7	12.96%
無い	45	83.33%
無回答	2	3.7%

ソーシャルメディアの投稿内容のうち、通常のリツイート数とコメント数を超えて、広く拡散した投稿内容について、83.33%の回答館がとくにないと答えた。「ある」と答えた12.96%の回答館では、「リツイート抽選」、「映画鑑賞イベント」、「今流行っている話題の話」などの回答が得られた。

2018年11月11日、中国大手のモバイル決済会社アリペイがWeiboを利用して、合計およそ150社がプレゼントを用意し、リツイートしたユーザの中から抽選を行って、当選したユーザに商品などをプレゼントするといった企画が実施された。それ以降、様々なアカウントが同様の企画を模倣しており、その中に、図書館の公式アカウントも含まれている。当選したプレゼントはベストセラー本や、当選者が読みたい本などである。リツイートすることだけで、無料でプレゼントをもらえることから、このような投稿内容は普段と異なり、広く拡散されることになる。

問 23 現在のアカウントを増やす予定について

表 26 アカウント増やす予定

有効回答 52	回答数	割合
ある	0	0%
なし	52	96.3%
無回答	2	3.7%

現在使っているソーシャルメディアのほかに、アカウントを増やす予定があるかについて、ほぼ全部の回答館が「なし」と回答した。

問 24 ほかのソーシャルメディアの利用予定について

表 27 ソーシャルメディア種類を増やす予定

有効回答 53	回答数	割合
ある	3	5.56%
無い	50	92.59%
無回答	1	1.85%

他のソーシャルメディアの利用予定について、92.59%の回答館が「なし」と答えたが、「ある」と回答した3館について、具体的にそのソーシャルメディアについて回答してもらったところ、「TikTok」、「アリペイ」、「知乎」であった。

「知乎」は、2011年からサービスを開始したQ&Aサイトであり、同年年末にアプリの提供を始めた。利用者が質問を投稿し、その質問に対して知識のあるユーザがコメントやアドバイスを回答するというシステムである。

問 25 Weibo と Wechat の投稿内容について

表 28 Weibo と Wechat の投稿内容

有効回答 53	回答数	割合
同じ	43	79.63%
違いがある	10	18.52%
無回答	1	1.85%

Weibo と Wechat を同時に使っている図書館に対して、Weibo と Wechat の投稿内容が同じであるか違いがあるのかを訪ねたところ、「同じ」が 79.63%、「違いがある」が 18.52%であった。具体的には、「担当部門が違うため、内容も担当部門の業務内容によって違いがある」、「Weibo はイベントの広報に用いることが多い」、「Weibo の内容の方が Wechat より柔軟性があり、Wechat の方は長文が多い」などの回答が得られた。

5.考察

日本の公共図書館におけるソーシャルメディアとしては、Twitter と Facebook が広く普及しており、それ以外には、LINE やブログなども用いられている。Twitter と Weibo は同じ機能を持ったメディアであると言える。また、Facebook と Wechat の公式アカウントの使用方法は概ね共通している。しかし、日本のアカウントには「公式」と第三者が開設する「非公式」の二種類があるが、中国では、ほぼ全て運用しているアカウントは公式アカウントである。公式ではないアカウントは公式認定という手続きを行わず、アカウントを開設後そのままに放置されるケースが多い。

Weibo を利用している公共図書館の設置自治体は図 8 で示している。区立が最も多く、47%、次いで、市立が 38%、県立が 14%、鎮と街道では 1%が利用している。

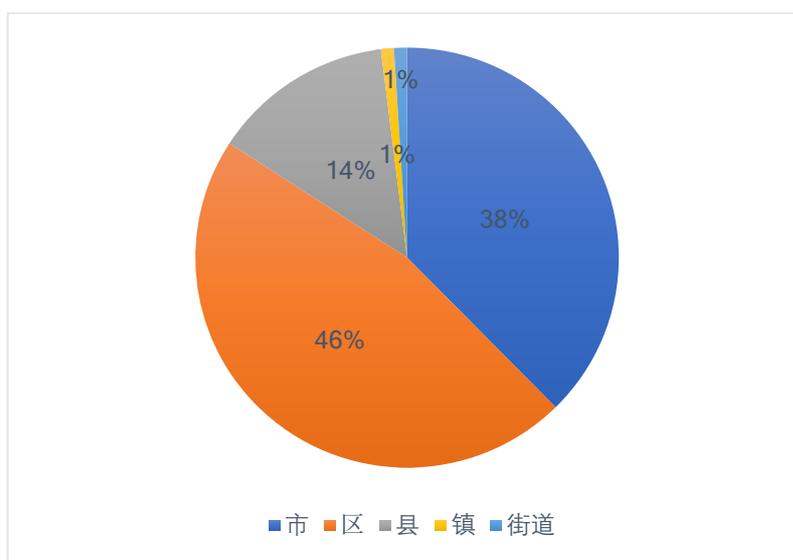


図 10 Weibo を利用している公共図書館の設置自治体

Wechat を利用している公共図書館の設置自治体を図 9 で示した。区立が最も多く 53%、次いで、市立が 25%、県立が 21%、街道が 1%であった。

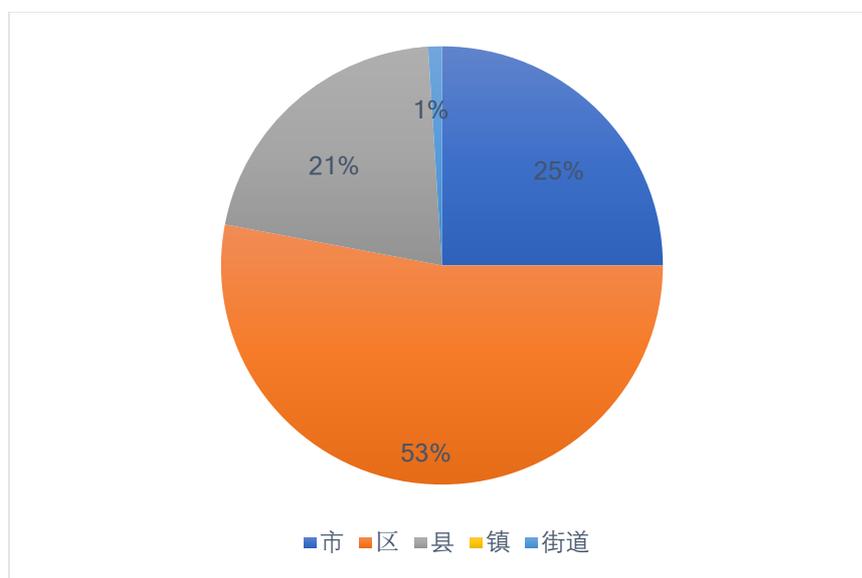


図 11 Wechat を利用している公共図書館の設置自治体

日本において Twitter を利用している図書館は、都道府県では 34%、市区では 6.7%、町村では 2.2%になっている。Facebook を利用している自治体は都道府県では 25.5%、市区では 6.1%、町村では 1.2%になっている²¹⁾。日本では都道府県立が最も多く、中国では郷級レベルの区立が最も多い。

投稿内容としては、中国の公共図書館は「お知らせ」、「新着資料」、「イベントの宣伝」、「館内資料のおすすめ」、「情報共有」、「利用者とのやり取り」、「特別内容」などであり、日本の公共図書館と大きく異なっていないことが分かった。

6. 結論

本研究では、新たなメディアであるソーシャルメディアが、中国の公共図書館においてどのように受容されつつあるのか、その利用実態と運用状況を明らかにするために、中国における公共図書館を対象としたインタビュー調査とアンケート調査を実施した。現在最も利用されているソーシャルメディアは Weibo と Wechat であり、それ以外には、「豆瓣」「知乎」「Tiktok」など若い世代の中で流行しているソーシャルメディアを利用する図書館もあった。しかしながら、インタビュー調査の結果、新しいソーシャルメディアを利用する意向があるかどうかという質問に対して、「現状維持」と回答した図書館がほとんどで、アンケート調査においても 92.59%の図書館が現在利用のソーシャルメディア以外の新しいソーシャルメディアを利用する予定がないと回答した。利

用目的としては、「図書館の広報」を中心に、図書館資料の紹介に力を入れていたことが分かった。

ソーシャルメディアの運用については、半分以上の回答館は2~3名の担当者を設置しており、投稿内容は担当者の判断で決めて、上司や他の担当者にチェックしてもらった上で投稿することが多かった。読者とのやり取りには、正確さとスピードを重視してコミュニケーションを取っている。一方で、ネット上には、いたずらなど意味不明のコメントもあるため、このような状況に対しての対策を講じる必要があり、それぞれの担当者なりのルールがあった。また、図書館ごとにソーシャルメディアの更新頻度は異なっていた。さらに、ソーシャルメディアの運用規則のような成文化されたルールについては存在していないものが多く、9割以上の回答館は担当者が決めると回答した。また、ソーシャルメディアが普及して間もないことから、担当者の交代なども行われていないことから、引き継ぎの必要がなく、そうしたルール作成が遅れていることが予想される。今後の課題として、運用規則を文章化し、担当者の役割分担、リスク対策などを立てる方が必要と思われる。

また、ソーシャルメディアの効果については、フォロワー数などの数値とイベントの参加人数が最も体感しやすい指標のようである。将来の計画については、多くの回答館では「現状のままでアカウントを運用していく」と回答した。ソーシャルメディアをさらに効果的に利用する方法を把握していないことから、一定期間に更新をし続けて放置されたアカウントも大量に存在しているようである。

今回の調査では、図書館側だけの状況を調べた。図書館アカウントをフォローする利用者側の意見が手を伸ばしていない。主な原因は二つ、まず図書館アカウントをフォローするソーシャルメディアの調査対象を絞るのが難しい。ソーシャルメディアの利用者は若い年代を中心し、その中図書館アカウントをフォローするのも若者は多いと考えられる。調査対象としての幅が狭い。次、図書館アカウントをフォローする大学生に対してのプレ調査では、アカウントをフォローする理由とどのような内容を見ないなどを尋ねた結果、「よく利用している図書館なのでフォローした」と「図書館の最新情報を知りたい」となっている。異なる意見を得られないと考えて、本調査では利用者に対しての調査をしておらず。

また、全国市レベル以上、かつウェブページにメールアドレスを掲載している図書館だけをアンケートを送ったが、区図書館と街道図書館などはメールアドレスを掲載している所は少なく、連絡が取りにくい。そして、調査館の数量が少ない、一部ネット上の広報を重視している公共図書館の結果となっている。

以上のように、公共図書館にとって、ソーシャルメディアは新たなサービスであり、様々なソーシャルメディアへの関心も高まっているものの、情報発信手段としての影響力を理解するとともに、継続的な運用体制を整備することが課題となっていると言えるだろう。今後には、現在の日常的な投稿以外に、フォロワーとの関係をどのように構築していくか、また、どのように、アカウントの広報力や影響力を拡大していくかが大きな課題として挙げられるだろう。

謝辞

本研究を行うに当たって、ご助言やご指導いただいた筑波大学大学院図書館情報メディア研究科の池内淳准教授に心から感謝の気持ちを申し上げます。

また、インタビュー調査にご協力してくださり、貴重なインタビュー内容をいただいで、大連沙河口区図書館、盤錦市図書館、大連市図書館、瀋陽市図書館のソーシャルメディア担当者にお礼を申し上げます。さらに、アンケート調査を協力くださった図書館の担当者に貴重な時間を割いて感謝致します。

引用文献

- 1) “第42次《中国互联网络发展状况统计报告》”. 中国互联网络信息中心.
http://www.cnnic.net.cn/hlwfzyj/hlwzbg/hlwtjbg/201808/t20180820_70488.htm,
(参照 2018-11-20)
- 2) “国务院办公厅关于印发进一步深化“互联网+政务服务”推进政务服务“一网、一门、一次”改革实施方案的通知”. 中华人民共和国中央人民政府.
http://www.gov.cn/zhengce/content/2018-06/22/content_5300516.htm,
(参照 2018-11-20)
- 3) “中华人民共和国公共图书馆法”. 中国人大网.
http://www.npc.gov.cn/npc/xinwen/2017-11/04/content_2031427.htm,
(参照 2018-11-20)
- 4) “平成30年版情報通信白書”. 総務省.
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h30/pdf/index.html>,
(参照 2018-11-26)
- 5) “日本の図書館におけるレファレンスサービスの課題と展望”. 国立国会図書館.
<http://current.ndl.go.jp/report/no14>(参照 2018-11-23)
- 6) 石過桃子. (2014). 大学図書館におけるソーシャルメディアの利用に関する実態調査.
- 7) 吉田泰久. (2015). 公共図書館におけるソーシャルメディアの受容.
- 8) 李超. (2012). 国内图书馆开通微博服务的现状分析. 图书馆杂志(2), 24-28.
- 9) 龚雪竹. (2014). 公共图书馆和高校图书馆微博的比较分析. 大学图书馆学报, 32(6), 78-82.
- 10) Qing, Y., & Hui, L. (2015). Statistical Analysis on 2013 Weibo Services in Public Libraries in China. *Journal Of East Asian Libraries*, (160), 15-26
- 11) Palmer, S. (2014). Characterizing University Library Use of Social Media: A Case Study of Twitter and Facebook from Australia. *Journal Of Academic Librarianship*, 40(6), 611-619. doi:10.1016/j.acalib.2014.08.007
- 12) “Public Libraries: Marketing and Communications Landscape”. Dublin. H: OCLC.
https://www.oclc.org/content/dam/research/publications/2018/216084_2018_Public_Library_Marketing_Report.pdf, (参照 2019-01-08)

- 13) Fields, & Erin. (2010). A unique twitter use for reference services. *Library Hi Tech News*, 27(6/7), 14-15.
- 14) Oh EK. (2012). The Study on the Activation of Public Library Services Utilizing Twitter. *International Journal of Information Management*, 43(2), 133-150
- 15) Stuart D. (2010). What Are Libraries Doing on Twitter. *Online*. 34(1), 45-47
- 16) 方兴东, 张笑容, & 张静. (2012). 中国微博发展与社会对话新机制的形成. *现代传播(中国传媒大学学报)*, 34(6), 95-100.
- 17) “2017 微博用户发展报告”. 微博数据中心.
<http://data.weibo.com/report/reportdetail?id=404>, (参照 2019-01-04)
- 18) 佚名. (2018). 中国互联网络发展状况统计报告. *中国科技信息*(5), 6-7.
- 19) 岳家伍. (2015). 浅析图书馆 app 建设. *图书情报导刊*, 25(20), 144-145.
- 20) “中国统计年鉴”, 国家统计局
<http://www.stats.gov.cn/tjsj/ndsjsj/2018/indexch.htm>, (参照 2018-12-17)
- 21) 吉田泰久. (2015). 公共図書館におけるソーシャルメディアの受容.

参考文献

- 1) 李妍. (2013). 中国におけるマイクロブログの利用実態と認識.
- 2) 胡凱麗. (2016). 中国の公共図書館における課題解決支援サービス-上海図書館のビジネス支援サービスの実態-.
- 3) 张素红. (2014). 基于公共文化空间的图书馆微博研究. (Doctoral dissertation, 华中师范大学).
- 4) 朱雪清. (2014). 图书馆微博的营销功能、驱动因素和体系建构研究. *图书馆学刊*, 36(9), 103-106.
- 5) 林明宏. (2018). 公共图书馆微信平台阅读推广服务效用评价关键影响因素研究—基于施拉姆大众传播理论的多维复合分析. *农业图书情报学刊*, 30(4), 151-155.
- 6) 王方园. (2014). 图书馆微博平台的服务策略. *图书馆学刊*(8), 106-108.

付録

中国的公共图书馆中社交媒体的使用情况的调查

第 1 题 贵馆现在正在使用的媒体的种类 [多选题]

1. 微博
2. 微信
3. 图书馆专用 APP
4. 其他 (请具体说明)

第 2 题 贵馆开设社交账号的目的 [多选题]

1. 用于图书馆整体的宣传
2. 图书馆各项活动的宣传
3. 图书馆新到资料的通知与介绍
4. 图书馆相关信息的扩散
5. 加强与读者的互动
6. 其他 (请具体说明)

第 3 题 开设图书馆社交媒体账号的契机是什么 [单选题]

1. 看到其他图书馆的社交媒体账号
2. 馆内工作人员提出意见
3. 读者建议开设社交媒体账号
4. 其他 (请具体说明)

第 4 题 开设社交媒体账号是由谁提出的意见 [多选题]

1. 宣传部门部长
2. 宣传部门成员
3. 馆内经常使用社交媒体的馆员
4. 读者
5. 其他 (请具体说明)

第 5 题 提案建立社交媒体账号开始到实际开始更新账号内容花费了多长时间 [单选题]

1. 当天开设
2. 提案之后的一周内
3. 提案之后的二周内
4. 提案之后的一个月内
5. 提案之后的两个月内
6. 其他 (请具体说明)

第 6 题 现阶段作为图书馆主要宣传渠道的媒体是什么 [多选题]

1. 图书馆官方网站
2. 图书馆杂志

3. 图书馆的社交媒体账号
4. 进行专门的宣传
5. 其他（请具体说明）

第 7 题 是否有针对不同的对象人群使用不同的媒体手段进行宣传工作
例如：对于年轻使用者的消息基本在社交平台上进行宣传 对于年龄稍大的使用者会采用发送传单来进行宣传（如果有，请分别介绍对象人群以及所使用的宣传媒体）[单选题]

- 1.是
- 2.否

第 8 题 社交媒体账号负责人的人数 [单选题]

1. 1 人
2. 2~3 人
3. 3 人以上
4. 其他（请具体说明）

第 9 题 社交媒体账号负责人的所属部门以及其所属部门 [单选题]

1. 社交媒体部门
2. 图书馆的宣传部门
3. 其他（请具体说明）

第 10 题 负责人的工作内容是如何进行分配的 [单选题]

1. 未进行工作内容分担
2. 不同方面的消息由不同工作人员负责
3. 当天上班的人负责全天内容
4. 其他（请具体说明）

第 11 题 社交媒体账号负责人的工作是如何进行交接的
（负责人人数为 2 人及以上时，请回答此问题）[填空题]

第 12 题 是否有明确规定的账户的具体管理方法
（如果有，请说明是如何制定的管理方法）[单选题]

1. 是
2. 无明文规定，由负责人进行判断
3. 否

第 13 题 是否设置了发布内容的检查机制 [多选题]

1. 投稿发送前检查
2. 投稿发送后检查
3. 否

第 14 题 是否设置了用户互动内容的检查机制 [多选题]

1. 系统发送新消息（评论与转发等）提示时检查
2. 每天定时检查
3. 没有进行检查
4. 其他（请具体说明）

第 15 题 社交媒体的更新时间 [单选题]

1. 开馆时间内
2. 闭馆时间内
3. 不定时（仅在发布内容时更新）
4. 负责人选定的时间
5. 其他时间段（请具体说明）

第 16 题 投稿发布的时间段一般在 [单选题]

1. 上午居多
2. 下午居多
3. 傍晚居多
4. 不定时（仅在发布内容时更新）
5. 负责人选定时间

第 17 题 是否使用平台自带的自动发布功能 [单选题]

1. 是
2. 否

第 18 题 在实际运用与管理等方面是否有特别下功夫的部分（如果有，是具体说明是哪些部分） [单选题]

1. 有
2. 无

第 19 题 在开设账号有没有感受到很明显的的效果（如果有，是根据怎样的数据如何对效果进行评价的） [多选题]

1. 关注者数量增加
2. 评论数量增加
3. 转发数量增加
4. 来馆人数的增加
5. 发布的活动的参加人数增加
6. 图书等资料的咨询数增加
7. 并无明显的感受
8. 其他（请具体说明）

第 20 题 为了增加社交媒体的关注数量是否进行宣传活动 [多选题]

1. 实时分享馆内情况
2. 发布内容时增加话题标签 (#)
3. 开展线上活动 (转发抽奖等)
4. 配合线下活动
5. 其他 (请具体说明)

第 21 题 与读者进行互动时所需注意的方面 [填空题]

第 22 题 与平均扩散程度相比, 是否有大范围扩散的内容(转发量/阅读量/评论量)
(如果有, 请说明是怎样的内容) [单选题]

- 1.是
- 2.否

第 23 题 现在使用中的媒体账号有增加的计划吗?
(如果有, 请写出想要增加账号的社交媒体的名字) [单选题]

- 1.是
- 2.否

第 24 题 是否有使用其他新媒体的计划?
(如果有, 请写出想要增加的新媒体的名字) [单选题]

- 1.是
- 2.否

第 25 题 微博与微信 (或其他社交媒体) 的发布内容是否相同
(微博与微信同时使用时请回答此问题) [单选题]

- 1.相同
- 2.不同

中国の公共図書館におけるソーシャルメディアの
利用実態アンケート

問1 今使っているソーシャルメディアの種類は何か [複数選択問題]

1. Weibo
2. Wechat
3. 図書館専門アプリ
4. その他（具体的に説明してください）

問2 ソーシャルメディア・アカウントを開設の目的は何か [複数選択問題]

1. 図書館全体の宣伝
2. 図書館イベントの宣伝
3. 図書館新着資料のお知らせ
4. 図書館に関する内容の拡散
5. 利用者との交流
6. その他（具体的に説明してください）

問3 ソーシャルメディア・アカウントを開設したきっかけは何か [単一選択問題]

1. 他の図書館のアカウントを見かけた
2. 館員の意見
3. 利用者の意見
4. その他（具体的に説明してください）

問4 ソーシャルメディア・アカウントを開設したのは誰の意見ですか [複数選択問題]

1. 宣伝部門の部長
2. 宣伝部門の館員
3. ソーシャルメディアよく使う館員
4. 利用者
5. その他（具体的に説明してください）

問5 アカウント開設の提案から実際の開設までの時間はどのくらいか [単一選択問題]

1. 当日
2. 一週間内
3. 二週間内
4. 1ヶ月内
5. 2ヶ月内
6. その他（具体的に説明してください）

問6 図書館の宣伝媒体は何か [複数選択問題]

1. 図書館ウェブサイト
2. 図書館雑誌

3. ソーシャルメディアアカウント
4. 宣伝しない
5. その他（具体的に説明してください）

問7 異なる対象に対して異なる媒体を使い分けて広報することがあるか [単一選択問題]

1. はい（具体的に説明してください）
2. いいえ

問8 担当者の人数 [単一選択問題]

1. 1人
2. 2～3人
3. 3人以上
4. その他（具体的に説明してください）

問9 担当者の所属部門 [単一選択問題]

1. ソーシャルメディア部門
2. 図書館の宣伝部門
3. その他（具体的に説明してください）

問10 担当者の役割分担はどうするか [単一選択問題]

1. 仕事分担しない
2. 異なる内容が専門の人が担当
3. 出勤する人は当日を担当
4. その他（具体的に説明してください）

問11 担当者の交代はどうするか [問答式問題]

問12 ルール化のアカウントの管理方法はあるか [単一選択問題]

1. ある
2. なし、担当者による判断
3. なし

問13 稿内容のチェック体制あるか [複数選択問題]

1. 投稿前にチェックする
2. 投稿後にチェックする
3. チェックしない

問14 他のユーザーとのやりとりのチェック体制あるか [複数選択問題]

1. システムが提示する際にチェック
2. 定時にチェックする
3. チェックしない
4. その他（具体的に説明してください）

問 15 ソーシャルメディアの更新時間は何か [単一選択問題]

1. 業務時間内
2. 業務時間外
3. 不定時（内容がある際に更新）
4. 担当者が決める
5. その他時間帯（具体的に説明してください）

問 16 投稿時間はいつか [単一選択問題]

1. 午前
2. 午後
3. 夕方
4. 不定時（内容がある際に投稿）
5. 担当者が決める

問 17 自動投稿を使用しているか [単一選択問題]

1. 使用する
2. 使用しない

問 18 運用・管理を工夫した点はあるか [単一選択問題]

1. ある（具体的に説明してください）
2. 無い

問 19 アカウントを開設して感じた効果はあるか [複数選択問題]

1. フォロワー数増加
2. コメント数増加
3. リツイート数増加
4. 来館人数増加
5. イベントの参加人数増加
6. 資料の問い合わせ数増加
7. 著しい効果が無い
8. その他（具体的に説明してください）

問 20 ソーシャルメディアのフォロワーを増えるための宣伝活動はあるか [複数選択問題]

1. リアルタイムで館内状況を投稿
2. 投稿するハッシュタグをつける

3. 抽選イベントを企画
4. イベントと連携
5. その他（具体的に説明してください）

問 21 メディア上で他のユーザーとのやり取りで気をつけることがあるか [問答式問題]

問 22 平均より広く拡散した投稿内容はあるか [単一選択問題]

1. ある
2. 無い

問 23 現在利用しているメディアのアカウントを増やす予定があるか [単一選択問題]

1. ある
2. 無い

問 24 新たに利用を考えているソーシャルメディアがあるか [単一選択問題]

1. ある
2. 無い

問 25 Weibo と Wechat の投稿内容は同じですか [単一選択問題]

1. 同じ
2. 違いがある

Weibo アカウントリスト

アカウント名	所在地	フォロー数	フォロワー数	ツイート数
国家图书馆	北京市	144	220,000	11490
佛山市图书馆	广东省佛山市	820	40,000	6113
顺德图书馆	广东省佛山市顺德区	234	30,000	8803
厦门市图书馆	福建省厦门市	126	10,000	4579
成都图书馆	四川省成都市	356	20,000	10264
温州市图书馆	浙江省温州市	229	10,000	3131
长沙图书馆	湖南省长沙市	555	70,000	6596
四川省图书馆	四川省成都市	215	20,000	1965
国图少儿馆	北京市	221	10,000	3253
闵行区图书馆	上海市闵行区	1978	10,000	11421
上海少年儿童图书馆	上海市	142	8242	2927
重庆市巴南区图书馆	重庆市巴南区	87	80,000	2117
中国数字图书馆	北京市	512	9297	850
福建省图书馆	福建省福州市	248	9392	4397
北京市东城区图书馆	北京市东城区	2000	20,000	9917
新疆图书馆	新疆维吾尔自治区	3	20,000	4133
汕头市图书馆	广东省汕头市	267	6274	1076
舟山图书馆	浙江省舟山市	109	4937	795

武汉图书馆	湖北省武汉市	247	5908	1635
莞城图书馆	广东省东莞市	366	5178	2612
嘉定区图书馆	上海市嘉定区	151	50,000	4431
临沂市图书馆	山东省临沂市	467	10,000	8214
浦东图书馆读者服务	上海市浦东区	110	50,000	1016
吉林省图书馆	吉林省长春市	391	7307	3623
湖南图书馆	湖南省长沙市	679	9639	9366
大连图书馆	辽宁省大连市	326	110,000	2811
青岛市图书馆	山东省青岛市	438	8153	4535
太仓市图书馆官方	江苏省太仓市	259	10,000	7554
长宁区图书馆	上海市长宁区	328	4276	3940
贵州省图书馆	贵州省贵阳市	504	6528	1701
嘉兴市图书馆	浙江省嘉兴市	174	4591	3963
从化区图书馆	广东省从化区	217	3808	1748
北滘图书馆	广东省佛山市顺德区	246	2920	1819
永昌图书	甘肃省金昌市	1098	10,000	3003
清阅朴读	上海市青浦区	509	10,000	6628
湖北省图书馆新馆	湖北省武汉市武昌区	92	4969	590
虹口区图书馆	上海市虹口区	210	3120	1494
安徽省图书馆	安徽省合肥市	316	3279	1572

北京华藏图书馆（民办）	北京市海淀区	753	2593	596
徐汇区图书馆	上海市徐汇区	338	2556	2516
浦东图书馆少儿馆	上海市浦东区	485	80,000	1176
无锡新吴区图书馆	江苏省无锡市新吴区	1944	3466	5249
陆家嘴图书馆	上海市浦东新区	1043	2333	1181
三门县有为图书馆	浙江省台州市三门县	629	2441	5831
杨浦区图书馆	上海市杨浦区	235	2589	3214
神木市图书馆	陕西省榆林市	610	8276	3186
宝安图书馆	广东省深圳市宝安区	245	4378	3732
黑龙江省图书馆	黑龙江省哈尔滨市	1088	4016	10336
西安图书馆	陕西省西安市	263	20,000	1633
鄂尔多斯市东胜区图书馆	内蒙古自治区鄂尔多斯市东胜区	249	2379	3466
心目图书馆（盲人图书馆）	北京市西城区	86	1667	596
山西省图书馆文源讲坛	山西省太原市	322	2548	1467
海宁市图书馆	浙江省海宁市	123	1886	1243
厦门少图	福建省厦门市	328	7253	3239
安庆市图书馆	安徽省安庆市	574	3281	1904
余杭图书馆	浙江省杭州市余杭区	6	2961	1578
乌鲁木齐市图书馆	新疆维吾尔自治区乌鲁木齐市	331	2895	10151
海南省图书馆官微	海南省海口市	83	2406	1602

北京市石景山区图书馆	北京市石景山区	256	2483	3898
海珠区图书馆	广州市海珠区	258	1797	1777
济南市图书馆	山东省济南市	280	5929	884
银川市图书馆	宁夏银川市	202	3119	1685
昆明图书馆	云南省昆明市	215	1919	2118
陇南徽县图书馆	甘肃省陇南市徽县	2006	1343	27470
芜湖市镜湖区图书馆	安徽省芜湖市镜湖区	1645	4856	1963
抚顺市图书馆	辽宁省抚顺市	274	2017	2271
清远市图书馆	广东省清远市	521	1393	759
唐山市图书馆	河北省唐山市	116	1898	1766
内蒙古自治区图书馆官博	内蒙古自治区呼和浩特市	22	70,000	78
北京市大兴区图书馆	北京市大兴区	107	30,000	3993
大庆市图书馆	黑龙江省大庆市	544	3031	2378
鲅鱼圈图书馆	辽宁省营口市鲅鱼圈区	70	1524	496
象山县图书馆	浙江省宁波市象山县	285	1084	1731
德清县图书馆	浙江省湖州市德清县	175	938	387
太原市图书馆微博	山西省太原市	242	2069	405
厦门思明区图书馆	福建省厦门市思明区	112	1011	476
惠东图书馆	广东省惠州市惠东县	160	833	144
青岛西海岸新区图书馆	山东省青岛市西海岸新区	67	3294	1257

长安图书馆	广东省东莞市	250	1609	2417
郑州图书馆新馆	河南省郑州市	296	70,000	227
山西省朔州市图书馆	山西省朔州市	245	20,000	705
大渡口区图书馆	重庆市大渡口区	18	9390	4
虎门图书馆	广东省东莞市虎门镇	163	1669	826
福田区图书馆	广东省深圳市福田区	167	1124	1602
襄阳市图书馆	湖北省襄阳市	207	996	2082
玉环图书馆	浙江省台州市玉环县	237	1079	307
江苏淮安市图书馆	江苏省淮安市	154	1108	111
宜兴市图书馆	江苏省宜兴市	131	872	619
乐清市图书馆	浙江省乐清市	137	826	115
宜春市图书馆	江西省宜春市	85	801	225
陇南市图书馆	甘肃省陇南市	1463	5905	3975
新疆克拉玛依市图书馆	新疆维吾尔自治区克拉玛依市	88	2529	148
合肥市图书馆	安徽省合肥市	293	2816	1854
哈尔滨市图书馆	黑龙江省哈尔滨市	109	1960	2339
南海图书馆	广东省佛山市南海区	97	1768	193
海淀区图书馆	北京市海淀区	102	1669	3583
辽宁省朝阳市图书馆	辽宁省朝阳市	300	1423	1449
宁夏图书馆	宁夏回族自治区	114	1321	593

天津市武清区图书馆	天津市武清区	101	1128	651
大连市西岗区图书馆	辽宁省大连市西岗区	169	986	2352
湖北省图书馆—长江讲坛	湖北省武汉市武昌区	273	890	577
昆山市图书馆	江苏省昆山市	15	871	301
余姚市图书馆	浙江省余姚市	125	727	498
渝中区图书馆	重庆市渝中区	159	20,000	458
巴州图书馆	新疆维吾尔自治区巴州	53	4310	214
怀柔区图书馆	北京市怀柔区	136	829	4074
莆田市图书馆	福建省莆田区	52	900	1256
市北第一图书馆	山东省青岛市	1583	899	2115
南京市鼓楼区图书馆	江苏省南京市鼓楼区	194	763	416
北仑区图书馆	浙江省宁波市北仑区	63	651	587
瑞安市图书馆	浙江省瑞安市	86	624	127
镇海区图书馆	浙江省宁波市镇海区	337	2645	4377
云南省图书馆官博	云南省昆明市	104	1885	2681
阳泉市图书馆	山东省阳泉市	74	1303	182
南浔图书馆	浙江省湖州市南浔区	188	832	639
北川县图书馆	四川省绵阳市北川县	392	707	1098
辽宁省图书馆	辽宁省沈阳市	27	705	914
秦皇岛图书馆	河北省秦皇岛市	73	666	253

同安图书馆	福建省厦门市同安区	92	541	281
定海区图书馆	浙江省舟山市定海区	127	418	270
甘孜藏族自治州图书馆	四川省甘孜藏族自治州	18	4672	14
淄博市图书馆	山东省淄博市	83	2349	2607
天津市河北区图书馆	天津市河北区	374	1276	6072
苏州市吴中区图书馆	江苏省苏州市吴中区	179	1252	624
湖南省少年儿童图书馆	湖南省长沙市	34	1237	298
南宁市图书馆	广西壮族自治区南宁市	128	874	1460
上海市虹口区江湾镇街道图书馆	上海市虹口区江湾镇	183	889	3146
成都市武侯区图书馆	四川省成都市武侯区	137	801	1598
坪山区图书馆	广东省深圳市坪山区	104	807	481
杭州少年儿童图书馆	浙江省杭州市	28	572	860
天河区图书馆	广东省广州市天河区	192	437	481
黄山市图书馆	安徽省黄山市	57	482	343
苍南图书馆	浙江省温州市苍南县	91	441	52
佛山市高明区图书馆	广东省佛山市高明区	296	367	289
吐鲁番图书馆	新疆维吾尔自治区	313	2149	75
沧州图书馆	河北省沧州市	50	1199	689
高淳图书馆	江苏省南京市高淳区	61	716	2349
光明新区图书馆	广东省深圳市光明新区	137	756	1765

池州市图书馆	安徽省池州市	54	633	935
济源市图书馆	河南省济源市	72	577	904
宣城市图书馆	安徽省宣城市	15	646	300
湖州市图书馆	浙江省湖州市	50	439	926
宜都市图书馆	湖北省宜都市	193	520	442
长春市图书馆	吉林省长春市	67	455	318
重庆市少年儿童图书馆	重庆市	184	407	742
盘锦市图书馆	辽宁省盘锦市	19	2979	88
文明新乡市图书馆	河南省新乡市	456	802	4699
奉化区图书馆	浙江省宁波市	53	481	770
沈阳市图书馆服务平台	辽宁省沈阳市	8	448	87
桐庐县图书馆	浙江省杭州市	130	341	844
上海市崇明区图书馆	上海市崇明区	76	360	248
崇文图书馆	北京市东城区	77	348	220
莱芜市图书馆	山东省莱芜市	50	20,000	208
哈尔滨南岗区图书馆	黑龙江省哈尔滨市南岗区	124	671	264
书香江宁	江苏省南京市江宁区	206	572	1499
辽阳市图书馆	辽宁省辽阳市	50	498	593
青海省图书馆	青海省西宁市	43	443	157
濮阳市图书馆	河南省濮阳市	272	386	109

广东省科技图书馆	广州市广东省	129	309	650
路桥区图书馆	浙江省台州市路桥区	17	259	452
温州市龙湾区图书馆	浙江省温州市龙湾区	206	237	410
茂名市图书馆	广东省茂名市	37	229	70
花都区图书馆	广东省广州市花都区	81	194	63
双流图书馆	四川省成都市双流区	13	194	11
开封市图书馆	河南省开封市	121	80,000	2016
中卫市图书馆	宁夏回族自治区中卫市	398	988	423
新疆巴州和静县图书馆	新疆巴音郭楞蒙古自治州和静县	23	860	10
河南省图书馆官微	河南省郑州市	41	462	2824
哈尔滨市呼兰区图书馆	黑龙江省哈尔滨市呼兰区	61	311	132
仪征市图书馆	江苏省仪征市	62	251	244
贺兰图书馆	宁夏回族自治区宁夏市贺兰县	255	214	36
福州市图书馆	福建省福州市	1	225	10
浦江县图书馆	浙江省金华市浦江县	100	210	96
顺义区图书馆	北京市顺义区	96	130,000	269
沙坪坝区图书馆	重庆市沙坪坝区	1768	50,000	359
威海市图书馆	山东省威海市	45	10,000	99
重庆黔江区图书馆	重庆市黔江区	11	10,000	56
曲阜图书馆	山东省曲阜市	4	3483	12

和田地区图书馆	新疆维吾尔自治区和田区	130	1592	65
玉泉区图书馆	内蒙古自治区呼和浩特市玉泉区	67	1041	33
温泉县图书馆	新疆维吾尔自治区博尔塔拉州温泉县	15	1001	8
长春市朝阳区图书馆	吉林省长春市朝阳区	340	906	922
南宁市少年儿童图书馆	广西壮族自治区南宁市	70	339	584
潍坊市图书馆	山东省潍坊市	34	354	637
新乐市图书馆	河北省石家庄市新乐县	490	284	198
平湖图书馆	浙江省嘉兴市平湖市	96	199	124
昆明市官渡区图书馆	云南省昆明市官渡区	49	244	2979
广西壮族自治区图书馆	广西壮族自治区南宁市	68	272	276
株洲市图书馆	湖南省株洲市	60	194	116
武侯区图书馆	四川省成都市武侯区	227	113	130
大连市甘井子区图书馆	辽宁省大连市甘井子区	14	207	106
南京市溧水区图书馆	江苏省南京市溧水区	28	218	141
上海市松江区图书馆	上海市松江区	17	158	166
广州市荔湾区图书馆	广东省广州市荔湾区	38	162	501
成都市青白江区图书馆	四川省成都市青白江区	57	156	51
遵义市图书馆	贵州省遵义市	116	137	17
宜昌市图书馆	湖北省宜昌市	13	144	134
鞍山市图书馆	辽宁省鞍山市	6	133	99

郑州市中原区图书馆	河南省郑州市中原区	41	121	171
磐安县图书馆	浙江省金华市磐安县	258	124	733
抚州市图书馆	江西省抚州市	48	10,000	109
天津市西青区图书馆	天津市西青区	52	10,000	363
德宏州图书馆	云南省德宏傣族景颇族自治州	84	5520	472
烟台市莱山区图书馆	山东省烟台市莱山区	205	5188	328
北京市通州区图书馆	北京市通州区	53	2372	2565
天津市和平区图书馆	天津市和平区	48	2174	135
书香盐城	江苏省盐城市	220	1668	249
白银市图书馆	甘肃省白银市	77	1362	365
天津市红桥区图书馆	天津市红桥区	1	1284	41
惠安图书馆	福建省泉州市惠安县	128	1165	114
东平县图书馆	山东省泰安市东平县	30	651	29
金州图书馆	辽宁省大连市金州区	4	362	2504
大方县图书馆	贵州省大方县	692	377	38
阜康图书馆	新疆维吾尔自治区昌吉回族自治州阜康市	26	300	168
夏津县图书馆	山东省德州市夏津县	260	275	274
晋城图书馆	山西省晋城市	36	242	58
济南市历下区图书馆	山东省济南市历下区	132	213	452
包头市图书馆	内蒙古自治区包头市	22	202	109

大连市沙河口区图书馆	辽宁省大连市沙河口区	33	158	476
东阳市图书馆	浙江省金华市东阳市	90	140	261
开平市图书馆	广东省江门市开平县	66	134	217
广元市图书馆	四川省广元市	12	171	35
赤峰市图书馆	内蒙古自治区赤峰市	18	174	49
洛阳市图书馆	河南省洛阳市	37	184	145
日照市图书馆	山东省日照市	65	174	166
章丘区图书馆	山东省济南市章丘区	10	181	141
合肥市少年儿童图书馆	安徽省合肥市	99	183	205
贵阳市乌当区图书馆	贵州省贵阳市乌当区	140	126	643
绵竹市图书馆	四川省绵竹市	43	119	152
宁陕县图书馆	陕西省安康市宁陕县	242	143	444
邯郸市图书馆	河北省邯郸市	63	141	1
天津市津南区图书馆	天津市津南区	94	146	306
龙泉图书馆	成都市龙泉驿区	457	130	90
青州市图书馆	山东省潍坊市青州市	86	139	253
呼和浩特图书馆	内蒙古自治区呼和浩特市	48	138	57
南京市栖霞区图书馆	江苏省南京市栖霞区	152	127	176
鄂托克旗图书馆	内蒙古自治区鄂尔多斯市鄂托克旗	64	113	178
德州市图书馆	山东省德州市	88	120	261

滨海新区汉沽图书馆	天津市滨海新区	115	118	127
鹤壁市图书馆	河南省鹤壁市	60	114	2583
筠连县图书馆	四川省宜宾市筠连县	46	115	231
北京市西城区少儿图书馆	北京市西城区	49	113	148
宝应县图书馆	江苏省扬州市宝应县	80	96	74
厦门市湖里区图书馆	福建省厦门市湖里区	60	99	43
枣庄市图书馆	山东省枣庄市	95	89	147
福安市图书馆	福建省宁德市福安市	30	70	252
天津市河西区图书馆	天津市河西区	21	81	193
贵州省安顺市图书馆	贵州省安顺市	29	67	249
铜陵市图书馆	安徽省铜陵市	22	69	16
安康市图书馆	山西省安康市	34	68	6
江汉图书馆	湖北省武汉市江汉区	37	75	145
浦江县图书馆	浙江省金华市浦江县	35	70	80
三亚市图书馆	海南省三亚市	29	60	1
河源市图书馆	广东省河源市	3	68	762
营口市图书馆	辽宁省营口市	5	61	16
重庆市少年儿童图书馆团支部	重庆市	30	50	96
梅州市剑英图书馆	广东省梅州市	20	30,000	204
青山湖区图书馆	江西省南昌市青山湖区	6	10,000	237

滁州市图书馆	安徽省滁州市	33	10,000	42
锦州市图书馆	辽宁省锦州市	12	700	23
栖霞市图书馆	山东省烟台市	222	336	292
甘泉社区书海飘香	上海市甘泉街道	80	246	977
宿州市图书馆	安徽省宿州市	22	235	91
书香安康	山西省安康市	260	193	542
枞阳黄镇图书馆	安徽省铜陵市枞阳黄镇	246	151	164
菏泽市牡丹区图书馆	山东省菏泽市牡丹区	154	155	393
乳山市图书馆	山东省威海市乳山市	58	163	218
威海市文登区图书馆	山东省威海市文登区	21	156	268
茌平县图书馆	山东省茌平县	161	142	739
包头市青山区图书馆	内蒙古自治区包头市青山区	80	129	50
金台区图书馆	陕西省宝鸡市金台区	68	120	43
菏泽市图书馆	山东省菏泽市	12	131	115
荣成市图书馆	山东省威海市荣成县	59	120	2544
滨州市图书馆	山东省滨州市	44	120	100
文水县图书馆	山西省吕梁市文水县	147	115	478
通化市图书馆	吉林省通化市	123	103	416
齐齐哈尔图书馆	黑龙江省齐齐哈尔市	5	108	146
东营市图书馆	山东省东营市	10	100	233

巨野县图书馆	山东省菏泽市巨野县	40	95	127
龙岩图书馆	福建省龙岩市	109	86	22
天水麦积区图书馆	甘肃省天水市麦积区	7	93	88
曹县图书馆	山东省菏泽市曹县	75	93	34
齐河县图书馆	山东省齐河县	166	76	122
铁岭市图书馆	辽宁省铁岭市	85	80	69
漳州市图书馆	福建省漳州市	13	78	129
海淀区图书馆北馆	北京市海淀区	25	70	30
垦利图书馆微博	山东省东营市垦利区	19	75	68
烟台开发区图书馆	山东省烟台市开发区	8	70	175
恭城县图书馆	广西壮族自治区桂林市恭城县	112	74	170
莱西市图书馆	山东省莱西市	26	70	169
定西市图书馆	甘肃省定西市	99	70	49
望奎图书馆	黑龙江省绥化市望奎县	41	52	213
广州市白云区图书馆	广州市白云区	4	64	94
重庆市九龙坡区图书馆	重庆市九孔坡区	0	54	23
福建省三明市图书馆	福建省三明市	16	55	33
济南市历城区图书馆	山东省济南市历城区	82	52	238
全椒县图书馆	安徽省滁州市全椒县	75	53	223
南京市浦口区图书馆	江苏省南京市浦口区	36	50	119

莒县图书馆	山东省日照市莒县	104	54	44
商洛图书馆	山西省商洛市	26	45	53
渝北区图书馆	重庆市渝北区	18	49	8
玉溪市红塔区图书馆	云南省玉溪市红塔区	45	45	142
昆明市五华区图书馆	云南省昆明市五华区	41	45	48
东至县图书馆	安徽省池州市东至县	32	45	36
洪山区图书馆	湖北省武汉市洪山区	47	37	23
淄博市周村区图书馆	山东省淄博市周村区	6	39	4
闽侯县图书馆	福建省福州市闽侯县	16	37	105
上海市普陀区图书馆	上海市普陀区	8	30	88
镇江市图书馆	江苏省镇江市	8	30	88
鄂尔多斯市图书馆微博	内蒙古自治区鄂尔多斯市	54	20	0
丽水市图书馆	浙江省丽水市	5	9	0
重庆市大足区图书馆	重庆市大足区	65	30,000	94
重庆市江津区图书馆	重庆市江津区	33	20,000	41
密云区图书馆	北京市密云区	82	20,000	69
重庆市合川区图书馆	重庆市合川区	1	10,000	179
重庆万盛经济技术开发区图书馆	重庆市万盛经济技术开发区	62	4114	42
邢台市图书馆	河北省邢台市	4	159	4
南充市顺庆区图书馆	四川省南充市顺庆区	55	82	7

济宁市兖州区图书馆	山东省济宁市兖州区	37	77	112
宁河图书馆	天津市宁河区	3	80	26
临淄区图书馆	山东省淄博市临淄区	166	79	228
达州区图书馆	四川省达州市达川区	35	71	118
仁怀市图书馆微博	贵州省遵义市仁怀	34	68	5
盘锦市少年儿童图书馆	辽宁省盘锦市	101	63	88
房山区图书馆	北京市房山区	142	58	133
合水县图书馆	甘肃省庆阳市合水县	70	60	82
济宁市图书馆	山东省济宁市	3	60	70
澧县图书馆	湖南省常德市澧县	65	49	7
易县图书馆	河北省保定市易县	16	52	24
山东单县图书馆	山东省菏泽市单县	124	53	4
郓城县图书馆	山东省菏泽市郓城县	56	49	37
东阿县图书馆	山东省聊城市东阿县	39	54	37
临清市图书馆	山东省聊城市临清市	73	51	282
东营区图书馆	山东省东营市东营区	38	48	61
彭水县图书馆	重庆市彭水县	10	41	64
郑州市二七区图书和	河南省郑州市二七区	50	41	17
巴彦淖尔市图书馆	内蒙古自治区巴彦淖尔市	48	41	44
即墨市图书馆	山东省青岛市即墨区	17	38	6

东西湖区图书馆	湖北省武汉市东西湖区	50	41	37
内蒙古乌海市图书馆	内蒙古自治区乌海市	29	36	44
鞍山市少年儿童图书馆	辽宁省鞍山市	45	39	82
垫江县图书馆	重庆市垫江县	52	29	32
临沧市图书馆	云南省临沧市	6	32	10
重庆市万州区图书馆	重庆市万州区	8	31	50
重庆市南岸区图书馆	重庆市南岸区	11	34	12
津市市图书馆	湖北省津市	66	31	164
许昌市图书馆	河南省许昌市	18	26	8
洛阳市涧西区图书馆	河南省洛阳市涧西区	63	29	53
文昌市图书馆	海南省文昌市	20	28	36
北屯市图博馆	新疆维吾尔自治区北屯市	3	26	3
泰州市图书馆	江苏省泰州市	66	30	97
天津市南开区图书馆	天津市南开区	5	23	15
淄博市张店区少儿图书馆	山东省淄博市张店区	20	29	61
江夏图书馆	湖北省武汉市江夏区	46	26	123
景德镇市图书馆	江西省景德镇市	31	27	63
武汉市青山区图书馆	湖北省武汉市青山区	35	29	51
襄阳市少年儿童图书馆	湖北省襄阳市	90	28	70
牟平区图书馆	山东省烟台市牟平区	72	25	59

平潭图书馆	福建省平潭县	67	25	19
习水县图书馆	贵州省遵义市习水县	61	23	6
黄石市图书馆	湖北省黄石市	58	21	2
泸西县图书馆	云南省泸西县	18	21	138
平阳县图书馆	浙江省平阳县	23	22	85
百色市图书馆	广西省百色市	0	22	6
烟台市福山区图书馆	山东省烟台市福山区	18	22	50
岳麓区图书馆	湖南省长沙市岳麓区	65	20	5
广安市图书馆	四川省广安市	74	20	34
盐城市图书馆	江苏省盐城市	3	17	10
贵阳市少年儿童图书馆	贵州省贵阳市	2	17	25
大连市少儿图书馆	辽宁省大连市	62	16	8
罗庄市图书馆	山东省临沂市罗庄市	70	15	28
吴忠市图书馆	宁夏回族自治区吴忠市	8	16	11
都江堰市图书馆	四川省成都市都江堰市	0	18	56
西安市未央区图书馆	陕西省西安市未央区	3	18	4
上杭县图书馆	福建省龙岩市	6	17	289
富顺县图书馆	四川省自贡市富顺县	4	17	8
绍兴市越城区图书馆	浙江省绍兴市越城区	15	16	30
黔南州图书馆	贵州省黔南布依族苗族自治州	27	15	28

平度市图书馆	山东省平度市	67	15	9
黄浦区图书馆	上海市黄浦区	10	13	27
汉滨少图	山西省安康市汉滨区	24	12	91
德安县图书馆	江西省德安县	75	12	5
巴中市图书馆	四川省巴中市	3	10	1
肇庆市图书馆	广东省肇庆市	5	11	1
文化传播者-重庆市开州区图书馆	重庆市开州区	1	12	23
成武县图书馆	山东省成武县	69	12	5
汉阳区图书馆	武汉市汉阳区	8	10	3
萍乡市图书馆	江西省萍乡市	5	11	52
中江图书馆	四川省德阳市中江县	3	8	12
上饶市图书馆	江西省上饶市	61	8	1
武鸣区图书馆	广西壮族自治区南宁市武鸣区	2	8	0
长寿路街道图书馆	上海市普陀区长寿路街道	4	6	0
重庆市璧山区图书馆	重庆市璧山区	6	40,000	40
重庆市永川区图书馆	重庆市永川区	60	20,000	33
重庆市武隆区图书馆	重庆市武隆区	2	10,000	46
鄂州图书馆	湖北省鄂州市	4	2907	34
眉县图书馆	陕西省宝鸡市眉县	46	63	23
菏泽市定陶区图书馆	山东省菏泽市定陶区	74	56	73

诸城市图书馆	山东省潍坊市诸城市	60	51	42
延边图书馆	吉林省延边州	6	45	11
大悟县图书馆	湖北省孝感市大悟县	48	37	11
南昌市图书馆	江西省南昌市	8	38	0
甘泉图书馆	山西省延安市甘泉县	74	11	0

Wechat アカウトリスト

アカウント名	所在地
广州图书馆	广东省广州市
杭州图书馆	浙江省杭州市
太原市图书馆	陕西省太原市
佛山市图书馆	广东省佛山市
湖南图书馆	湖南省长沙市
宁波市图书馆	浙江省宁波市
厦门市图书馆	福建省厦门市
温州市图书馆	浙江省温州市
浙江图书馆	浙江省杭州市
国家图书馆	北京市
河源市图书馆	广东省河源市
深圳图书馆	广东省深圳市
上海图书馆	上海市
东莞图书馆	广东省东莞市
首都图书馆	北京市
浦东图书馆	上海市
南京图书馆	江苏省南京市
汕头市图书馆	广东省汕头市
包头市图书馆	内蒙古包头市
广东省立中山图书馆	广东省广州市
辽宁省图书馆	辽宁省沈阳市
四川省图书馆	四川省成都市
安徽省图书馆	安徽省合肥市
湖北省图书馆	湖北省武汉市
温州市少年儿童图书馆	浙江省温州市
张家港图书馆	江苏省苏州市
内蒙古图书馆	内蒙古自治区
温岭市图书馆	浙江省台州市
成都图书馆	四川省成都市
福田图书馆	广东省深圳市福田区
朔州市图书馆	山西省朔州市
广西壮族自治区图书馆	广西壮族自治区
柳州市图书馆	广西省柳州市
南宁市图书馆	广西壮族自治区
武汉图书馆	湖北省武汉市
青岛市图书馆	山东省青岛市
山东省图书馆	山东省济南市
顺德图书馆	广东省佛山市

唐山市图书馆	河北省唐山市
宝安图书馆	广东省深圳市宝安区
无锡市图书馆	江苏省无锡市
秦皇岛图书馆	河北省秦皇岛市
武进图书馆	江苏省常州市武进区
长春市图书馆	吉林省长春市
济南图书馆	山东省济南市
淄博市图书馆	山东省淄博市
山西省图书馆	陕西省太原市
昆山市图书馆	江苏省昆山市
重庆图书馆	重庆市
双流图书馆	四川省成都市双流区
北仑图书馆	浙江省宁波市北仑区
黑龙江省图书馆	黑龙江省吉林市
天津图书馆	天津市
德清县图书馆	浙江省湖州市德清县
郑州图书馆	河南省郑州市
海宁市图书馆	浙江省嘉兴市海宁市
南山图书馆	广东省深圳市南山区
惠阳图书馆	广东省惠阳县
齐齐哈尔市图书馆	黑龙江省齐齐哈尔市
临海图书馆	浙江省台州市临海县
晋江市图书馆	福建省晋江市
上海图书馆信使	上海市
福建省图书馆	福建省福州市
定州图书馆	河北省定州市
西安图书馆	陕西省西安市
沈阳市图书馆	辽宁省沈阳市
金陵图书馆	江苏省南京市
潍坊市图书馆	山东省潍坊市
合肥市图书馆	安徽省合肥市
泉州市图书馆	福建省泉州市
江阴市图书馆	江苏省江阴市
宜兴市图书馆	江苏省宜兴市
长沙县图书馆	湖南省长沙市
扬州市图书馆	江苏省扬州市
常熟图书馆	江苏省常熟市
山西省图书馆少儿馆	陕西省太原市
广州少年儿童图书馆	广东省广州市
苏州图书馆	江苏省苏州市
大庆市图书馆	黑龙江省大庆市

通州区图书馆	北京市通州区
百色市图书馆	广西壮族自治区百色市
哈尔滨市图书馆	黑龙江省哈尔滨市
朝阳区自主图书馆	北京市朝阳区
心目图书馆	北京市
乐清市图书馆	浙江省乐清市
顺义图书馆	北京市顺义区
云南省图书馆	云南省昆明市
河南省图书馆	河南省郑州市
静安区图书馆	上海市静安区
浙江图书馆	浙江省杭州市
海安少儿图书馆	江苏省海安县
襄阳图书馆	湖北省襄阳市
淮安市图书馆	江苏省淮安市
南海图书馆	广东省佛山市南海区
莆田市图书馆	福建省莆田市
九江图书馆	江西省九江市
湖州市图书馆	浙江省湖州市
大连图书馆	辽宁省大连市
三水图书馆	广东省三水区
太仓市图书馆	江苏省太仓市
绍兴图书馆	浙江省绍兴市
青田县图书馆	浙江省青田县
曲靖市图书馆	云南省曲靖市
海南省图书馆	海南省海口市
山东省图书馆	山东省济南市
沧州图书馆	河北省沧州市
临沂市图书馆	山东省临沂市
大田县图书馆	福建省三明市大田县
潮州市图书馆	广东省潮州市
运河图书馆	江苏省苏州市吴中区
启东市图书馆	江苏省南通市启东县
宜昌市图书馆	湖北省宜昌市
镜湖图书馆	安徽省芜湖市镜湖区
烟台图书馆	山东省烟台市
鳌江图书馆	浙江省温州市鳌江镇
日照市图书馆	山东省日照市
锦州市图书馆	辽宁省锦州市
连云港市图书馆	江苏省连云港市
瓯海区图书馆	浙江省温州市瓯海区
肇庆市图书馆	广东省肇庆市

河南省少年儿童图书馆	河南省郑州市
广州市天河区图书馆	广州市天河区
梅州市剑英图书馆	广东省梅州市
贵州省图书馆	贵州省贵阳市
巴南图书馆	重庆市巴南区
汤湖图书馆	湖北省武汉市蔡甸区
路桥图书馆	浙江省台州市路桥区
莱山区图书馆	山东省烟台市莱山区
济宁市图书馆	山东省济宁市
威海市图书馆	山东省威海市
番禺区图书馆	广州市番禺区
马鞍山市图书馆	安徽省马鞍山市
瑞安市图书馆	浙江省温州市瑞安县
常州市图书馆	江苏省常州市
镇海区图书馆	浙江省宁波市镇海区
昆明市图书馆	云南省昆明市
珠海市图书馆	广东省珠海市
洛阳图书馆	河南省洛阳市
拱墅区图书馆	浙江省杭州市拱墅区
台州图书馆	浙江省台州市
东胜区图书馆	内蒙古东胜区
增城图书馆	广州市增城区
大连开发区图书馆	辽宁省大连市开发区
神木图书馆	陕西省榆林市神木市
广州市海珠区图书馆	广州市海珠区
石家庄市图书馆	河北省石家庄市
梅河口市图书馆	吉林省梅河口市
浦口区图书馆	江苏省南京市浦口区
龙海市图书馆	福建省龙海市
甘肃省图书馆	甘肃省兰州市
漳州市图书馆	福建省漳州市
翔安区图书馆	福建省厦门市翔安区
青海省图书馆	青海省西宁市
蚌埠市图书馆	安徽省蚌埠市
上海市普陀区图书馆	上海市普陀区
新余图书馆	江西省新余市
宝鸡市图书馆	陕西省宝鸡市
斗门图书馆	广东省珠海市斗门区
平湖市图书馆	浙江省嘉兴市平湖市
北京市海淀区图书馆	北京市海淀区
上海市浦东新区陆家嘴图书馆	上海市浦东新区

莞城图书馆	广东省东莞市莞城街道
铜川图书馆	陕西省铜川市
枣庄市图书馆	山东省枣庄市
南通市图书馆	江苏省南通市
宁夏图书馆	宁夏回族自治区
苏州工业园区独墅湖图书馆	江苏省苏州市工业园区
桐乡市图书馆	浙江省桐乡市
河北省图书馆	河北省石家庄市
通化市图书馆	吉林省通化市
鄞州区图书馆	浙江省宁波市鄞州区
绵阳市图书馆	四川省绵阳市
嘉兴市图书馆	浙江省嘉兴市
福建省少年儿童图书馆	福建省福州市
镇江市图书馆	江苏省镇江市
李沧区图书馆	山东省青岛市李沧区
沙坪坝图书馆	重庆市沙坪坝区
辽阳市图书馆	辽宁省辽阳市
韶关市图书馆	广东省韶关市
同安区图书馆	福建省厦门市同安区
晋城市图书馆	陕西省晋城市
铜陵市图书馆	安徽省铜陵市
许昌市图书馆	河南省许昌市
长丰图书馆	安徽省长丰市
丰南图书馆	河北省唐山市丰南区
渝中区图书馆	重庆市渝中区
北海市图书馆	广西壮族自治区北海市
鄂尔多斯市图书馆	内蒙古鄂尔多斯市
广州市白云区图书馆	广东省广州市白云区
鹿城区图书馆	浙江省温州市鹿城区
余杭图书馆	浙江省杭州市余杭区
宜春市图书馆	江西省宜春市
滨州市图书馆	山东省滨州市
塘厦图书馆	广东省东莞市塘厦镇
景德镇市图书馆	江西省景德镇市
泰顺县图书馆	浙江省温州市泰顺县
阿拉善盟图书馆	内蒙古阿拉善盟
建德市图书馆	浙江省杭州市建德市
市南区图书馆	山东省青岛市市南区
龙湾区图书馆	浙江省温州市
广州市黄埔区图书馆	广州市黄埔区
延庆区图书馆	北京市延庆区

仪征市图书馆	江苏省仪征市
菏泽市图书馆	山东省菏泽市
邓州图书馆	河南省邓州市
福清市图书馆	福建省福清市
平顶山市图书馆	河南省平顶山市
宝应县图书馆	江苏省宝应县
通辽市图书馆	内蒙古通辽市
金湾区文化馆图书馆	广东省珠海市金湾区
贵阳市图书馆	贵州省贵阳市
石河子市图书馆	新疆维吾尔自治区石河子市
富平县图书馆	陕西省渭南市富平县
牡丹江市图书馆	黑龙江省牡丹江市
临沭县图书馆	山东省临沭县
濮阳市图书馆	河南省濮阳市
邹城市图书馆	山东省邹城市
克拉玛依市图书馆	新疆维吾尔自治区克拉玛依市
莱芜市图书馆	山东省莱芜市
三亚市图书馆	海南省三亚市
垦利图书馆	山东省东营市垦利区
上海松江区图书馆	上海市松江区
黄山市图书馆	安徽省黄山市
永嘉图书馆	浙江省温州市
奉化图书馆	浙江省宁波市奉化区
集美图书馆	福建省厦门市集美区
日照图书馆	山东省日照市
龙岩图书馆	福建省龙岩市
泉港市图书馆	福建省泉港市
麻阳图书馆	湖南省怀化市麻阳县
卫辉市图书馆	河南省卫辉市
巩义市图书馆	河南省巩义市
慈溪市图书馆	浙江省慈溪市
济源市图书馆	河南省济源市
烟台牟平区图书馆	山东烟台市牟平区
抚州市图书馆	江西省抚州市
新县图书馆	河南省新县
成都市武侯区图书馆	成都市武侯区
江门市五邑图书馆	广东省江门市
钦州市图书馆	广东省钦州市
上海市长宁区图书馆	上海市长宁区
首图数字图书馆	北京市
河口区图书馆	山东省东营市河口区

北京市平谷区图书馆	北京市平谷区
芮城区图书馆	山东省运城市芮城县
思明图书馆	福建省厦门市思明区
长治区图书馆	山西省长治区
哈密市图书馆	新疆维吾尔自治区哈密市
合肥市少年儿童图书馆	安徽省合肥市
锡都图书馆	云南省锡都
泰州市图书馆	江苏省泰州市
从化图书馆	广东省广州市从化区
闽侯县图书馆	福建省福州市闽侯县
简阳市图书馆	四川省简阳市
清远市图书馆	广东省清远市
婺城区图书馆	浙江省金华市婺城区
蓝田县图书馆	陕西省西安市蓝田县
海淀区图书馆北馆	北京市海淀区
云和县图书馆	浙江省丽水市云和县
新昌县图书馆	浙江省新昌县
邹平县图书馆	山东省滨州市邹平县
上海市虹口区图书馆	上海市虹口区
西宁市图书馆	青海省西宁市
缙云县图书馆	浙江省丽水市缙云县
海宁市图书馆	浙江省嘉兴市海宁市
赤峰市图书馆	内蒙古赤峰市
萍乡市图书馆	江西省萍乡市
山西省图书馆文源坛	山西省太原市
邯郸市图书馆	河北省邯郸市
天长市图书馆	安徽省滁州市天长市
新疆图书馆	新疆维吾尔自治区乌鲁木齐
茂名市图书馆	广东省茂名市
汉中市图书馆	陕西省汉中市
焦作市图书馆	河南省焦作市
葫芦岛市图书馆	辽宁省葫芦岛市
淳安县图书馆	浙江省杭州市淳安县
岱山县图书馆	浙江省岱山县
鹤壁市图书馆	河南省鹤壁市
海门市图书馆	江苏省海门市
滕州市图书馆	山东省滕州市
金华市图书馆	浙江省金华市
资阳市图书馆	四川省资阳市
武义县图书馆	浙江省金华市武义县
四会市图书馆	广东省四会市

恩施州图书馆	湖北省恩施州
虎门图书馆	广东省虎门镇
开平市图书馆	广东省开平市
仙居县图书馆	浙江省台州市仙居县
诸暨市图书馆	浙江省诸暨市
上海市奉贤区图书馆	上海市奉贤区
北京市大兴区图书馆	北京市大兴区
茶陵图书馆	湖南省株洲市茶陵县
渝北区图书馆	重庆市渝北区
呼伦贝尔市图书馆	内蒙古呼伦贝尔市
吴起县图书馆	陕西省延安市吴起县
本溪市图书馆	辽宁省本溪市
常德市图书馆	湖南省常德市
江津区图书馆	重庆市江津区
曲沃县图书馆	山西省临汾市曲沃县
开封市图书馆	河南省开封市
东阳市图书馆	浙江省金华市东阳市
杭州市临安区图书馆	浙江省杭州市临安区
大岭山图书馆	广东省东莞市
合水县图书馆	甘肃省庆阳市合水县
汕头市澄海区图书馆	广东省汕头市澄海区
乌鲁木齐市图书馆	新疆维吾尔自治区乌鲁木齐
江西省图书馆	江西省南昌市
赣州市图书馆	江西省赣州市
天津市津南区图书馆	天津市津南区
天水市图书馆	甘肃省天水市
句容市图书馆	江苏省镇江市句容县
任丘市图书馆	河北省沧州市任丘县
眉山市图书馆	四川省眉山市
玉环区图书馆	浙江省台州市玉环区
湘潭市图书馆	湖南省湘潭市
金凤区图书馆	宁夏回族自治区银川市
巴州图书馆	新疆维吾尔自治区巴州
德州市图书馆	山东省德州市
象山图书馆	浙江省象山县
信阳市图书馆	河南省信阳市
诏安县图书馆	福建省漳州市诏安县
渭南市图书馆	陕西省渭南市
阳山县图书馆	广东省清远市阳山县
庄河市图书馆	辽宁省大连市庄河县
乳山市图书馆	山东省威海市

阳西县图书馆	广东省阳江市
禹州市图书馆	河南省禹州市
广州市越秀区图书馆	广州市越秀区
桐庐县图书馆	浙江省杭州市桐庐县
泰宁县图书馆	福建省三明市泰宁县
芒市图书馆	云南省芒市
长泰县图书馆	福建省漳州市长泰县
龙泉市图书馆	浙江省丽水市
无锡市新吴区图书馆	江苏省无锡市新吴区
昌吉州图书馆	新疆维吾尔自治区昌吉州
即墨市图书馆	山东省青岛市即墨区
阳泉市图书馆	山西省阳泉市
营口市图书馆	辽宁省营口市
玉林市图书馆	广西壮族自治区玉林市
深圳市光明新区图书馆	深圳市光明新区
常熟市图书馆	江苏省常熟市
鄂州市图书馆	湖北省鄂州市
黄岩图书馆	浙江省台州市黄岩区
陆良县图书馆	云南省曲靖市陆良县
莱西市图书馆	山东省莱西市
上杭县图书馆	福建省龙岩市上杭县
沁阳市图书馆	河南省焦作市沁阳市
天津市武清区图书馆	天津市武清区
洛阳市少年儿童图书馆	河南省洛阳市
衢州市图书馆	浙江省衢州市
青州市图书馆	山东省潍坊市
天津市河东区图书馆	天津市河东区
敦化图书馆	吉林省敦化市
黔江图书馆	重庆市黔江区
南阳市图书馆	河南省南阳市
大丰图书馆	江苏省盐城大丰区
灵寿县图书馆	河北省灵寿县
十堰市图书馆	湖北省十堰市
玉溪市图书馆	云南省玉溪市
夏津县图书馆	山东省夏津县
福州市马尾区图书馆	福建省福州市马尾区
荣成市图书馆	山东省威海市
北碚图书馆	重庆市北碚区
定边县图书馆	陕西省定边县
洪山区图书馆	湖北省武汉市洪山区
无锡市梁溪区图书馆	江苏省无锡市梁溪区

沈阳市少年儿童图书馆	辽宁省沈阳市
池州市图书馆	安徽省池州市
呼图壁县图书馆	新疆维吾尔自治区呼图壁县
重庆市南岸区图书馆	重庆市南岸区
宁县图书馆	甘肃省庆阳市宁县
青山湖区图书馆	江西省南昌市青山湖区
东莞松山湖图书馆	广东省东莞市松山湖
孝感市图书馆	湖北省孝感市
宣城市图书馆	安徽省宣城市
滨海图书馆	天津市滨海新区
上饶市图书馆	江西省上饶市
鹤山市图书馆	广东省鹤山市
乌当区图书馆	贵州省贵阳市乌当区
梧州市图书馆	广西省梧州市市
深圳市龙岗区图书馆	深圳市龙岗区
台州市图书馆	浙江省台州市
丽江市图书馆	云南省丽江市
杭州市西湖区图书馆	浙江省杭州市西湖区
万盛经开区图书馆	重庆市万盛区
云浮市图书馆	广东省云浮市
桐梓县图书馆	贵州省遵义市桐梓县
正定县图书馆	河北省正定县
郫都区图书馆	成都市郫都区
弥勒市图书馆	云南省弥勒市
鞍山市图书馆	辽宁省鞍山市
北海市少年儿童图书馆	广西壮族自治区北海市
西昌市图书馆	四川省西昌市
福安市图书馆	福建省福安市
南京市栖霞区图书馆	江苏省南京市
胶州市图书馆	山东省青岛市胶州区
普宁市图书馆	广东省普宁市
岐山县图书馆	陕西省宝鸡市岐山县
成都市成华区图书馆	成都市成华区
大连甘井子区图书馆	辽宁省大连市甘井子区
徐州市图书馆	江苏省徐州市
双鸭山市图书馆	黑龙江省双鸭山市
义乌市图书馆	浙江省金华市义乌市
湖南省少年儿童图书馆	湖南省长沙市
亳州市图书馆	安徽省亳州市
新沂市图书馆	江苏省徐州市新沂市
贵港市图书馆	广西壮族自治区贵港市

抚顺市图书馆	辽宁省抚顺市
三河市图书馆	河北省廊坊市
昌邑图书馆	山东省潍坊市
灵芝坡乡村图书馆	河南省三门峡市
益阳市图书馆	湖南省益阳市
齐河县图书馆	山东省齐河县
连州市图书馆	广东省清远市连州市
龙港图书馆	浙江省温州市
南通市通州区图书馆	江苏省南通市通州区
增城区图书馆	广州市增城区
崂山区图书馆	山东省青岛市崂山区
海城市图书馆	辽宁省鞍山市海城市
阜新市图书馆	辽宁省阜新市
平潭图书馆	福建省平潭市
上海市金山区图书馆	上海市金山区
温州市洞头区图书馆	浙江省温州市洞头区
荆州市图书馆	湖北省荆州市
富裕县图书馆	黑龙江省齐齐哈尔市富裕县
新乡市图书馆	河南省新乡市
广饶图书馆	山东省东营市广饶县
肇庆市端州图书馆	广东省肇庆市端州
凤阳县图书馆	安徽省滁州市凤阳县
章丘区图书馆	山东省济南市章丘区
科尔沁区图书馆	内蒙古科尔沁区
湖南省澧县图书馆	湖南省常德市澧县
汕尾市图书馆	广东省汕尾市
天津市滨海新区汉沽图书馆	天津市滨海新区
金寨县图书馆	安徽省六安市金寨县
深圳市罗湖区图书馆	深圳市罗湖区
平利县图书馆	陕西省安康市平利县
昭通图书馆	云南省昭通市
同安区少年儿童图书馆	福建省厦门市同安区
瓦房店市图书馆	辽宁省大连市瓦房店市
扬州市少儿图书馆	江苏省扬州市
丹东图书馆	辽宁省丹东市
岳阳市图书馆	湖南省岳阳市
三原县图书馆	陕西省咸阳市三原县
高州市图书馆	广东省高州市
洋县图书馆	陕西省汉中市洋县
襄垣县图书馆	陕西省长治市襄垣县
泾阳县图书馆	陕西省咸阳市泾阳县

壶关县图书馆	陕西省长治市壶关县
信州区图书馆	江西省上饶市信州区
达州图书馆	四川省达州
林州市图书馆	河北省林州市
三门峡市图书馆	河南省三门峡市
浦江图书馆	浙江省金华市浦江县
东湖区图书馆	江西省南昌市东湖区
垫江县图书馆	重庆市垫江县
建宁县图书馆	福建省三明市建宁县
海口图书馆	海南省海口市
安远县图书馆	江西省安远县
成都高新区图书馆	成都市高新区
蒙阴县图书馆	山东省蒙阴县
汉阳区图书馆	湖北省武汉市汉阳区
北京市西城区少儿图书馆	北京市西城区
济南历城区图书馆	山东省济南市
江山市图书馆	浙江省衢州市江山市
台山市图书馆	广东省台山市
沁源县图书馆	陕西省长治市沁源县
鲅鱼圈图书馆	辽宁省营口市鲅鱼圈
杭州市富阳区图书馆	浙江省杭州市富阳区
红河州图书馆	云南省红河州
阳新县图书馆	湖北省阳新县
密云区图书馆	北京市密云区
容县图书馆	广西壮族自治区玉林市容县
西安市长安区图书馆	陕西省西安市长安区
万年县图书馆	江西省上饶市万年县
揭阳市图书馆	广东省揭阳市
白城市图书馆	吉林省白城市
东营市图书馆	山东省东营市
洪山区图书馆	湖北省武汉市洪山区
固安县公共图书馆	河北省廊坊市固安县
涉县图书馆	河北省涉县
潍坊市奎文区图书馆	山东省潍坊市奎文区
富县图书馆	陕西省延安市富县
大竹县图书馆	四川省达州市大竹县
湖里区图书馆	福建省厦门市湖里区
播州图书馆	贵州省遵义市播州
中原区图书馆	河南省郑州市中原区
毕节图书馆	贵州省毕节市
清徐县图书馆	山西省太原市清徐县

铝县图书馆	山东省日照市铝县
嘉善图书馆	浙江省嘉兴市嘉善县
彬县图书馆	陕西省咸阳市彬县
青岛市城阳区图书馆	山东省青岛市城阳区
周口市图书馆	河南省周口市
桓台县图书馆	山东省淄博市桓台县
历下区图书馆	山东省济南市历下区
潼关图书馆	陕西省渭南市潼关县
广元市图书馆	四川省广元市
白银市图书馆	甘肃省白银市
兴义市图书馆	贵州省兴义市
成都市龙泉驿区图书馆	四川省成都市龙泉驿区
硚口区图书馆	湖北省武汉市硚口区
成都市温江区图书馆	四川省成都市温江区
故城县图书馆	河北省故城县
泰安市图书馆	山东省泰安市
遂宁市图书馆	四川省遂宁市
迁安市图书馆	河北省迁安市
彭水县图书馆	重庆市彭水县
紫金县图书馆	广东省河源市紫金县
莱州市图书馆	山东省莱州市
朔州市应县图书馆	陕西省朔州市应县
开远市图书馆	云南省开远市
锦州市少儿图书馆	辽宁省锦州市
繁昌县图书馆	安徽省芜湖市繁昌县
东阿县图书馆	山东省聊城市东阿县
临淄区图书馆	山东省临淄区
蒙山县图书馆	广西壮族自治区梧州市
无锡市惠山区图书馆	江苏省无锡市惠山区
永济市图书馆	陕西省永济市
彭州市图书馆	四川省彭州市
余姚市图书馆	浙江省余姚市
如皋市图书馆	江苏省如皋市
汝阳县图书馆	河南省洛阳市汝阳县
施甸县图书馆	云南省保山市施甸县
延津县图书馆	河南省新乡市延津县
定陶区图书馆	山东省菏泽市定陶区
涪陵区图书馆	重庆市涪陵区
始兴县图书馆	广东省始兴县
攀枝花县图书馆	四川省攀枝花
江夏区图书馆	湖北省武汉市江夏区

绍兴市越城区图书馆	浙江省绍兴市
源城区图书馆	广东省河源市源城区
金台区图书馆	陕西省宝鸡市金台区
宁都县图书馆	江西省宁都县
江西省南昌市图书馆	江西省南昌市
宾阳县图书馆	广西壮族自治区南宁市
宁波市海曙区	浙江省宁波市海曙区
阳春市图书馆	广东省阳江市阳春市
章贡区图书馆	江西省赣州市章贡区
连云港少年儿童图书馆	江苏省连云港市
普兰店图书馆	辽宁省大连市普兰店
牡丹区图书馆	山东省菏泽市牡丹区
南丰县图书馆	江西省抚州市南丰县
椒江图书馆	浙江省台州市椒江区
和静县东归图书馆	新疆维吾尔自治区和静县
宿州市图书馆	安徽省宿州市
广饶县图书馆	山东省东营市广饶县
永春县图书馆	福建省泉州市永春县
西双版纳州图书馆	云南省西双版纳州
南平市图书馆	福建省南平市
山西省洪桐县图书馆	陕西省洪桐县
建湖县图书馆	江苏省盐城市建湖县
宜都市图书馆	湖北省宜都市
遵义市图书馆	贵州省遵义市
沭阳图书馆	江苏省沭阳县
宜宾市图书馆	四川省宜宾市
固始县图书馆	河南省固始县
三台县图书馆	四川省绵阳市三台县
中牟县图书馆	河南省郑州市中牟县
福山区图书馆	山东省烟台市福山区
吉安县图书馆	江西省吉安县
龙昌市图书馆	四川省龙昌市
兰考县图书馆	河南省兰考县
河北省数字图书馆	河北省唐山市
英德市图书馆	广东省英德市
醴陵市图书馆	湖南省株洲市醴陵
乌海市图书馆	内蒙古乌海市
沂源县图书馆	山东省沂源县
泸西县图书馆	云南省红河州泸西县
秀山县图书馆	重庆市秀山县
万源市图书馆	四川省达州市万源县

咸丰县图书馆	湖北省恩施州咸丰县
包头市青山区图书馆	内蒙古包头市青山区
内蒙古图书馆少儿馆	内蒙古呼和浩特
辽宁省朝阳市图书馆	辽宁省朝阳市
瓜州县图书馆	甘肃省酒泉县瓜州县
商河县图书馆	山东省济南市商河县
漳平市图书馆	福建省龙岩市漳平市
七台河图书馆	黑龙江省七台河
云城区图书馆	广东省云城区
东兴市图书馆	广西壮族自治区东兴市
于都县图书馆	江西省赣州于都县
碧江区图书馆	贵州省铜仁市碧江区
曲阜市图书馆	山东省曲阜市
梅县图书馆	广东省梅州市梅县
孟津县图书馆	河南省孟津县
泗阳县图书馆	江苏省泗阳县
盘锦少年儿童图书馆	辽宁省盘锦市
大连市沙河口区图书馆	辽宁省大连市沙河口区
长安图书馆	陕西省西安市长安区
兰州市少年儿童图书馆	甘肃省兰州市
上海市长宁区少年儿童图书馆	上海市长宁区
周市图书馆	江苏省昆山市周市镇
宣汉县图书馆	四川省达州市宣汉县
鸡泽县图书馆	河北省邯郸市鸡泽县
内江市图书馆	四川省内江市
宾川县图书馆	云南省大理州宾川县
如东县图书馆	江苏省南通市如东县
大余县图画个	江西省赣州市大余县
黄梅县图书馆	湖北省黄冈市黄梅县
常州图书馆少儿天地	江苏省常州市
张家界中心图书馆	湖南省张家界市
福建省三明市图书馆	福建省三明区
江门市新会区景堂图书馆	广东省江门市新会区
韩城市司马迁图书馆	陕西省渭南市韩城市
乌审旗图书馆	内蒙古鄂尔多斯市乌审旗
保亭图书馆	海南岛保亭县
淄博市淄川区图书馆	山东省淄博市淄川区
忠县图书馆	重庆市忠县
新津县图书馆	四川省成都市新津县
伊川县图书馆	河南省洛阳市伊川县
晋安区图书馆	福建省福州市晋安区

大方图书馆	贵州省毕节市大方县
永靖县图书馆	甘肃省临夏回族自治州
清新区图书馆	广东省清远市清新区
陆家嘴街道图书馆	上海市陆家嘴区
南充市图书馆	四川省南充市
大连金州图书馆	辽宁省大连市金州区
西安市未央区图书馆	陕西省西安市未央区